

荒川区 指定管理者
平成26年度分 実績評価結果

平成27年9月

目 次

<ul style="list-style-type: none"> ●実績評価の目的及び評価方法について … 3 ●文化施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区民会館（サンパール荒川） … 5 日暮里サニーホール … 9 荒川区ムーブ町屋 … 13 ●ふれあい館 <ul style="list-style-type: none"> 石浜ふれあい館 … 17 南千住ふれあい館 … 21 南千住駅前ふれあい館 … 25 汐入ふれあい館 … 29 峡田ふれあい館 … 33 荒川山吹ふれあい館 … 37 町屋ふれあい館 … 41 荒木田ふれあい館 … 45 尾久ふれあい館 … 49 西尾久ふれあい館 … 53 東日暮里ふれあい館 … 57 夕やけこやけふれあい館 … 61 西日暮里ふれあい館 … 65 ●生涯学習施設 <ul style="list-style-type: none"> 町屋文化センター … 69 生涯学習センター … 73 清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 … 77 ●社会体育施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川総合スポーツセンター … 81 ●高齢者福祉施設 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 … 85 特別養護老人ホームサンハイム荒川 … 89 特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 … 93 グリーンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 97 サンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 101 花の木ハイム荒川在宅高齢者通所SC … 105 西日暮里在宅高齢者通所SC … 109 町屋在宅高齢者通所SC … 113 	<ul style="list-style-type: none"> 南千住中部在宅高齢者通所SC … 117 東日暮里在宅高齢者通所SC … 121 荒川東部在宅高齢者通所SC … 125 西尾久西部在宅高齢者通所SC … 129 荒川老人福祉センター … 133 授産場 … 137 ●障がい者施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川福祉作業所 … 141 荒川生活実習所 … 145 尾久生活実習所本所／分場 … 149 障害者福祉会館 … 153 精神障害者地域生活支援センター … 157 障害者グループホーム … 161 ●保育施設 <ul style="list-style-type: none"> 小台橋保育園 … 165 上尾久保育園 … 169 南千住さくら保育園 … 173 汐入とちのき保育園 … 177 はなみずき保育園 … 181 南千住保育園 … 185 南千住七丁目保育園 … 189 夕やけこやけ保育園 … 193 ●自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 南千住駅東口自転車等駐車場 … 197 センターまちや自転車駐車場 … 201 日暮里駅前自転車駐車場 … 205 三河島駅前自転車駐車場 … 209 ●住宅 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区営住宅（西尾久七丁目、西尾久三丁目、南千住二丁目、町屋七丁目、町屋五丁目） … 213 荒川区民住宅（西日暮里三丁目、東日暮里六丁目町屋八丁目、町屋五丁目） … 217
--	--

※ 通所サービスセンターを「SC」と記載しています。

実績評価の目的及び評価方法について

1 実績評価の目的

指定管理施設の管理運営の状況等について、実績の評価を行うことにより、継続的な改善を促し、サービス水準の一層の向上を図る。

2 評価方法

(1) 施設種別の設定

施設特性に応じた、より実効性のある、きめ細やかな評価を行うため、次の2種類の施設種別を設定する。

施設種別	施設特性	対象施設
A施設	<ul style="list-style-type: none"> 法令等による施設運営基準の定めがある 人的サービスの比重が大きい 	高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、保育施設
B施設	<ul style="list-style-type: none"> サービスや事業内容に関する指定管理者の創意工夫の余地が大きい 	文化施設、ふれあい館、生涯学習施設、社会体育施設、自転車等駐車場、住宅

(2) A施設のサービス面に関する評価項目と評点

- 「法令基準等への適合状況」と「加点点評価項目」の2面から評価する。
- 「法令基準等への適合状況」については、施設の設備、人員配置、運営等に関する法令基準を満たしているかを確認し、1項目でも満たしていなければ「不適合」と判断する。
- 施設特性に応じて「加点点評価項目」を設定し、「極めて良好である」「良好である」「取組が行われていない、または十分でない」の3段階で評価する。

(3) B施設のサービス面に関する評価項目と評点

- 「基本評価項目」と「その他の評価項目」の2面から評価する。
- 「基本評価項目」については、「施設の維持管理」と「区民サービス」の2点について、施設特性に応じて評価の細目及び配点（100点満点）を設定し、5段階評価を行った上で得点を算出する。
- 「その他の評価項目」については、評価対象とする項目及び配点（10点以内）を施設特性に応じて設定し、5段階の評価を行った上で得点を算出する。
- 「基本評価項目（100点）」と「その他の評価項目（10点）」の総合得点（110点満点）を算出し、下表の基準によりS～Dの総合評価を行う。

評価		基準
S	特に優れている	総合得点が100点以上
A	優れている	総合得点が80点以上100点未満
B	適正である	総合得点が60点以上80点未満
C	努力が必要である	総合得点が40点以上60点未満
D	運営に大きな問題がある	総合得点が40点未満

(4) 財務・労務面に関する評価項目と評点 (A施設・B施設共通)

- ・ A施設・B施設ともに、財務・労務の状況について、「収支状況・縮減努力」「法人決算」「労務」の状況を確認し、次の基準によりS～Dの評価を行う。

<収支状況・縮減努力>

- S : 会計手続及び予算管理が適正であり、経費縮減の努力が行われていた。
- A : 会計手続及び予算管理が適正に行われていた。
- B : 会計手続及び予算管理等が概ね適正に行われていた。一部に改善の必要があったが、改善された。
- C : 改善すべき点が複数見受けられ、努力が必要である
- D : 会計手続及び予算管理等に問題があり、改善の見込みがない。

<法人決算>

- S : 極めて良好な財務力を有している。
- A : 安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。
- B : 安定的・継続的な運営に当たって一部改善の必要が見受けられるが、改善の見込みがある。
- C : 安定的・継続的な運営に当たって改善すべき点が複数見受けられ、努力が必要である。
- D : 安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

<労務>

- S : 労働環境が良好である。
- A : 労働環境が適正である。
- B : 労働環境に一部改善の必要が見受けられたが、改善された又は改善の計画がある。
- C : 労働環境に改善すべき点が複数見られ、努力が必要である。
- D : 労働環境に問題があり、改善の見込みがない。

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）
	所在地	荒川区荒川1-1-1
指定管理者	名称	MKT共同事業体 (構成団体:代表企業:三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)共立、(株)スペースネットワーク)
	所在地	荒川区荒川7-19-1(代表企業所在地)
施設開設年月日		昭和50年3月28日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	1 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（以下、「ACC」という。）の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> ○大ホール 収容人員1,120席 面積1,162㎡ ○小ホール 収容人員300席（移動席）面積281㎡ ○集会室 第1（洋室）定員32名 面積78㎡ 第2（洋室）定員50名 面積73㎡ 第3（洋室）定員50名 面積85㎡ ※第2・3は通し使用可能 第4（和室）定員40名 面積90㎡ 第5（洋室）定員50名 面積92㎡ 第6（洋室）定員50名 面積99㎡ ※第5・6は通し使用可能 第7（洋室）定員100名 面積184㎡	
平成26年度の事業計画		
1. 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、意見交換会開催、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等 2. 研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報の取扱いに関する研修、ビジネスマナー研修等		
平成26年度の事業実績		
1. 上記管理運営事務の実施 2. 利用料金収入 66,485,126円 3. 稼働率 大ホール55.6% 小ホール62.4% 集会室40.5% 4. 利用者数 大ホール148,011人 小ホール60,885人 集会室77,652人		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	216,088,000	230,983,200	232,820,428	41,425,260
	決算	244,307,832	242,187,700	239,725,125	
支出	予算	216,088,000	230,983,200	232,820,428	41,425,260
	決算	239,002,541	240,281,534	235,941,141	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	5,305,291	1,906,166	3,783,984	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	40			32
① 快適に利用できるための施設管理がなされている	20	4	80%	16
② 業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
③ 研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス	60			48
④ 利用者に対し、満足のあるサービスを提供している	20	3	60%	12
⑤ 利用者の意見を取入れ、改善につなげている	20	4	80%	16
⑥ 事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	20	5	100%	20
合計(A)	100	-	-	80

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
⑦ 区内事業者を活用している	5	5	100%	5
⑧ 障害者を積極的に雇用している	5	4	80%	4
合 計 (A)	10	-	-	9
評価内容				
⑦区内事業者を活用している	修繕工事では、43件中、専門性の高い25件を除く他の18件全てを区内業者に発注している。消耗品も全て区内業者から購入している。			
⑧障害者を積極的に雇用している	障害者雇用率は2.29%であり、法定雇用率2.0%を超えている。			
改善すべき点等				
合計 (A+B)				89
総合評価				A

財務・労務評価表				
評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計手続きは適正であり、経費の不自然な計上は見受けられない。決算数字は正しく報告されている。	A	A
	予算管理が適正である	対予算比で収支差額は増加しているものの、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費節減により支出額が前年度比較で減少しており、収支差額黒字は前年度に比べ増加した。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	決算状況・財務状況より安定的・継続的な運営に必要な財務力を有していると判断する。	A	
労務	労働環境が適正である	法令に準じた運用を行っており、適切な労働環境が維持されている。	A	

総評	
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害等緊急時の対応に関する訓練・教育も積極的に行っている。 ・地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。
財務・労務面	<p>財務面については、会計手続きや予算管理は適正であり、経費節減の努力も見受けられる。また、指定管理者であるMKT共同事業体各社の財務状態は良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>労務面では法令に準じた労務管理を行っており、労働環境は適正である。</p>
総合評価	<p>昨年度に引き続き、適切な施設管理が行われており、利用者からの評価も良好であった。財務・労務面についても改善が図られており、良好である。</p> <p>また、27年度の大規模改修に向けて、情報提供や打合せの出席等、区と連携を図りながら行っている。</p> <p>以上、全体としてサンパール荒川の指定管理業務は適正に行われていたと評価する。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	日暮里サニーホールさくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麴町5-1 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日～
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容		<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員500名(フラット時)/面積404㎡ ○コンサートサロン 収容人員100名(フラット時)/面積113㎡ ○会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57㎡) 第2会議室 収容人員12名(面積25㎡) 第3会議室 収容人員12名(面積28㎡) ※第2, 3会議室は通し使用可能
平成26年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、舞台関係安全研修、個人情報取扱研修、地域文化勉強会等、施設運営に必要な研修 		
平成26年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 55,776,800円 3 稼働率 ホール73.6% コンサートサロン89.5% 会議室78.7% 4 利用者数 ホール68,975人 コンサートサロン32,521人 集会室45,977人 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	93,891,054	94,248,000	97,418,000	97,818,000
	決算	94,141,774	95,862,662	102,169,185	
支出	予算	93,891,054	94,248,000	97,418,000	97,818,000
	決算	96,650,641	95,353,584	97,418,000	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-2,508,867	509,078	4,751,185	

（備考）

基本評価項目

評価項目		配点	評価		得点
			レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理		40			32
①	快適に利用できるための施設管理がなされている	20	4	80%	16
②	業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
③	研修計画に基づいた職員の受講がなされてる	10	4	80%	8
区民サービス		60			44
④	利用者に対し、満足いくサービスを提供している	20	4	80%	16
⑤	利用者の意見を取入れ、改善につなげている	20	3	60%	12
⑥	事故を未然に防止し、苦情があった場合は適切に対処している。	20	4	80%	16
合 計 (A)		100	-	-	76

その他の評価項目						
評価項目		配点	評価		得点	
			レベル	乗率	配点×乗率	
⑦	区内事業者を活用している。	5	4	80%	4	
⑧	障害者を積極的に雇用している。	5	4	80%	4	
合計(A)		10	-	-	8	
評価内容<区民サービス>						
⑦区内事業者を活用している。	修繕工事では、15件中、専門性の高い6件を除く他の9件全てを区内業者に発注している。					
⑧障害者を積極的に雇用している。	障害者雇用率は2.48%であり、法定雇用率2.0%を超えている。					
改善すべき点等						
・施設の老朽化						
合計(A+B)					84	
総合評価					A	
財務・労務評価表						
評価項目		評価内容			評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計手続きは適正であり、経費の不自然な計上は見受けられない。決算数字は正しく報告されている。			A	A
	予算管理が適正である	収入は対予算比で増加し、収支差額は黒字計上されており、適正な予算管理が行われている。			A	
	経費縮減の努力が行われている	前年度比、収入増、支出減の為、収支差額の黒字幅が増加しており、経費節減の努力がみられる。			A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	決算状況・財務状況より安定的・継続的な運営に必要な財務力を有していると判断する。			A	
労務	労働環境が適正である	法令に準じた運用を行っており、適切な労働環境が維持されている。			A	

総評

サービス面	<p>・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。</p> <p>・地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。</p>
財務・労務面	<p>財務面については、会計手続きや予算管理は適正であり、経費節減の努力も見受けられる。また、指定管理者である日暮里サニーホールさくらグループ共同事業体各社の財務状態は良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>労務面では法令に準じた労務管理を行っており、労働環境は適正である。</p>
総合評価	<p>快適に利用できるための施設管理がなされ、利用者に満足いくサービスを提供していた。職員の配置も適正に行われており、サービス面は良好である。財務・労務面についても、昨年の指摘事項について改善が図られており、良好である。</p> <p>以上、全体として日暮里サニーホールの指定管理業務は適正に行われていたと評価する。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川7-50-9 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	ムーブ町屋さくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麴町5-1 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容		<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員296席/面積343㎡ ○会議室A(ハイビジョンルーム) 収容人員70席/面積59㎡ ○会議室B(ミニギャラリー) 収容人員28名/面積70㎡ ○スタジオ 収容人員10名程度/面積51㎡ ○企画展示コーナー オープンスペース/面積145㎡ (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185㎡)

平成26年度の事業計画

- 1 管理運営業務
施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行
- 2 研修
普通救命講習、舞台関係安全研修、個人情報取扱研修、地域文化勉強会等、施設運営に必要な研修

平成26年度の事業実績

- 1 上記管理運営事務の実施
- 2 利用料金収入 29,015,721円
- 3 稼働率 ムーブホール58.1% 会議室A54.1% 会議室B67.1% スタジオ68.6%
企画展示コーナー(ギャラリー)56.7%
- 4 利用者数 ムーブホール35,688人 会議室AB13,629人 スタジオ・ギャラリー43,195人

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	64,441,080	62,137,000	63,913,000	64,913,000
	決算	61,872,284	62,082,079	63,269,898	
支出	予算	64,441,080	62,137,000	63,913,000	64,913,000
	決算	62,525,994	65,454,200	63,913,000	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-653,710	-3,372,121	-643,102	

（備考）

基本評価項目

評価項目		配点	評価		得点
			レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理		40			32
①	快適に利用できるための施設管理がなされている	20	4	80%	16
②	業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
③	研修計画に基づいた職員の受講がなされてる	10	4	80%	8
区民サービス		60			44
④	利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	20	4	80%	16
⑤	利用者の意見を取入れ、改善につなげている	20	3	60%	12
⑥	事故を未然に防止し、苦情があった場合は適切に対処している。	20	4	80%	16
合 計 (A)		100	-	-	76

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
⑦ 区内事業者を活用している。	5	4	80%	4
⑧ 障害者を積極的に雇用している。	5	4	80%	4
合計 (A)	10	-	-	8

評価内容<区民サービス>

⑦区内事業者を活用している。	修繕工事では、18件中、専門性の高い7件を除く他の11件全てを区内業者に発注している。
⑧障害者を積極的に雇用している。	障害者雇用率は2.48%であり、法定雇用率2.0%を超えている。

改善すべき点等

・施設の老朽化

合計 (A+B)	84
総合評価	A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計手続きは適正であり、経費の不自然な計上は見受けられない。決算数字は正しく報告されている。	A	A
	予算管理が適正である	収入は対予算比で減少しており、収支差額は赤字であるものの、適切な予算管理が行われている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	昨年度比、収入微増、支出大幅減少の為、収支差額は改善しており、経費節減努力が見受けられる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	決算状況・財務状況より安定的・継続的な運営に必要な財務力を有していると判断する。	A	
労務	労働環境が適正である	法令に準じた運用を行っており、適切な労働環境が維持されている。	A	

総評

サービス面	<p>・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。</p> <p>・地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。</p>
財務・労務面	<p>財務面については、会計手続きや予算管理は適正であり、経費節減の努力も見受けられる。また、指定管理者であるムーブ町屋さくらグループ共同事業体各社の財務状態は良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>労務面では法令に準じた労務管理を行っており、労働環境は適正である。</p>
総合評価	<p>快適に利用できるための施設管理がなされ、利用者に満足いくサービスを提供していた。職員の配置も適正に行われており、サービス面は良好である。財務・労務面についても、昨年の指摘事項について改善が図られており、良好である。</p> <p>以上、全体として荒川区ムーブ町屋の指定管理業務は適正に行われていたと評価する。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	石浜ふれあい館
	所在地	荒川区南千住三丁目28番2号
指定管理者	名称	株式会社日本デイクアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】 1,018.44㎡ 【延床面積】 1,105.06㎡ 【主な施設】 1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室 2階…多目的室、プレイルーム、創作室 3階…和室1・2 4階…洋室1・2、備蓄倉庫 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児の子育て支援事業として、幼児タイム・高齢者との世代間交流・各種講座等の事業を行うほか、親子ふれあいひろばなどを活用して乳幼児が安全に過ごすことができる環境整備に努める。
児童事業として、多くの小学生が参加できるサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図るよう努める。
中高生事業として、中高生が利用しやすい環境整備に努め、青少年の健全な育成と交流の拠点になるよう努める。
高齢者事業として、事業の充実に努め、高齢者同士の交流の場を提供していくよう努める。
町会等の地域活動支援を積極的に行い、区民同士の交流と自主的活動促進の援助を行うよう努めるほか、文化向上や余暇の充実が図れるようにボランティアによる講座も支援し、心豊かな地域社会の形成に貢献できるように努める。

平成26年度の実績

開館して2年目であるが、各世代とも安定した事業運営を行い、地域に密着した館に成長した。乳幼児事業では、「ミルクキー」、「クッキー」、「タッチー」、「ウッキータイム」といった、乳幼児の成長段階に合わせたクラスを複数用意し、それぞれ異なる内容の乳幼児事業を実施した。また、児童事業では、ダンスや音楽などのサークルが荒川区や東京都主催のイベントに積極的に参加したほか、地域のお祭りにおいて発表するなど、地域の方々との交流に力を入れた。
中高生事業では、青少年の健全な育成と交流の拠点となるよう努めるとともに、館事業に自発的にお手伝いをしてくれる中高生をボランティアに活用するなど、社会参加を促す工夫を行った。高齢者事業では、健康に繋がる取組を積極的に行い、高齢者の健康増進に努めるとともに活動の場を館外に広げ、散歩やピクニック等を実施した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	4,352名(4,831名)
小学生	7,622名(8,876名)
中学生	777名(1,129名)
大人(高校生を含む)	6,261名(4,810名)
内:高校生	340名(54名)
内:18歳以上	5,921名(4,756名)
高齢者	6,635名(4,399名)
総入館者数	25,647名(24,045名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算		43,802,275	44,564,444	45,043,805
	決算		43,802,275	44,564,444	
支出	予算		43,802,275	44,564,444	45,043,805
	決算		40,374,092	44,217,840	
収支	予算		0	0	0
	決算		3,428,183	346,604	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				80
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	5	100%	10
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	100

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合 計 (B)	10	-	-	9.4
評価内容				
館事業のハロウィーンパレードや地域清掃の実施にあたり、地元町会や地域住民の参加を促す工夫など、地域を巻き込んだ積極的な館運営を高く評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				109.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費、光熱水費等について経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、中高生を積極的にボランティアに参加させる工夫（ボランティア証の交付など）をはじめ、各世代別の事業についても、きめ細やかに実施し、利用者から高い評価を得ている。館のサービス向上のため、利用者の意見や提案を積極的に受け入れるほか、職員の育成にも力を入れている点などを高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	南千住ふれあい館
	所在地	荒川区南千住六丁目36番13号
指定管理者	名称	テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社
	所在地	渋谷区代々木二丁目1番1号新宿マインズタワー
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】1,168.96㎡ 【延床面積】1,419.15㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2、授乳室・相談室 2階…多目的室、プレイルーム、創作室 3階…音楽室、洋室1・2 塔屋…屋上広場 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児・児童・青少年・成人・高齢者のあらゆる世代の人々が気軽に利用でき、ふれあいと交流を持てる地域の拠点となる施設整備を目指す。
子育て中の親子が気軽に利用できる居場所づくりを目指すとともに、母親の仲間作りと交流を支援する。
児童に健全な遊びや交流等の機会を提供し、健康な体と豊かな心を創りあげる事業を行う。
中高生が利用しやすいように「中高生タイム」を設け、多目的室などに居場所の提供を行い、非行や孤立を防止できるよう健全育成を支援する。
成人(高齢者を含む)を対象にスポーツや文化の講座を開催し、講座での仲間から新たな活動に発展できるよう支援する。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業については、ベビーミュージック・音楽ムーブメント・食育講座・しつけ講座等、講師を招いての講座を多く実施した。また中高生事業では週に一回、多目的室を専用利用できる「ティーンズタイム」を設けて、思い切り体を動かす場にするとともに職員とのコミュニケーションを図る機会とした。
成人事業では昨年同様の事業を継続して行い、利用者同士の交流をより深めることができた。
乳幼児から高齢者までの多世代交流の機会とするため、南千住わくわくまつりを開催したほか、「オトナの手芸」の講師を子どもたちにお願ひし、交流を深める工夫を図った。また、おばけやしき・わくわくまつり・クリスマス会などを子どもたちが中心となって話し合い、企画・運営を行った。その結果、子どもたちが、南千住ふれあい館は「自分のふれあい館」という意識を持つことができた。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	11,787名(11,692名)
小学生	13,198名(14,372名)
中学生	6,364名(3,459名)
大人(高校生を含む)	15,658名(14,956名)
内:高校生	170名(219名)
内:18歳以上	15,488名(14,737名)
高齢者	14,495名(14,978名)
総入館者数	61,502名(59,457名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	45,078,573	45,637,640	46,494,347	46,842,010
	決算	45,181,292	45,813,635	46,635,390	
支出	予算	43,373,704	45,637,640	46,494,347	46,842,010
	決算	43,161,902	48,024,501	47,883,001	
収支	予算	1,704,869	0	0	0
	決算	2,019,390	-2,210,866	-1,247,611	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				76
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	4	80%	4
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	9
評価内容				
<p>中高生の健全育成を図るため、ティーンズタイムを週1回設け、多目的室等に居場所の提供を行うほか、職員とコミュニケーションを図る場を設けるなど、積極的に取り組んだ結果、中学生の入館者数が前年比で183%増加するなど成果を上げた点を評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				105
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費が見込みより過大になっている。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、子どもが講師になり高齢者に作り方を教えるオトナの手芸などの多世代交流を実施している。また、利用者の提案を事業化した高齢者を対象とした大人の卓球タイム、健康麻雀や乳幼児親子を対象とした寝ぞうアートなど、利用者のニーズに対応した事業を実施するなど、積極的な事業展開を評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れており、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号アクレスティ南千住2F
指定管理者	名称	株式会社日本ダイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】アクレスティ南千住内 【延床面積】1,037.45㎡ 【主な施設】2階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、多目的室 3階…ブレイルーム、創作室、和室、洋室1・2・3・4 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児の子育て支援事業として、幼児タイム・高齢者との世代間交流と各種講座等の事業を行う。親子ふれあいひろばを活用し、幼児専用スペースを確保して安全に過ごせる環境を整備する。また、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を受ける。

多くの子どもたちが参加できるサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図る。

中高生が利用しやすい環境の整備に努め、健全な育成と交流の拠点となるように努める。

中学生職場体験の積極的な受け入れなどにより、中学生の健全育成に努める。

区民相互の交流と自主的活動促進の支援を行い、文化的生活の向上や余暇の充実を図れるように事業を展開していく。

高齢者の交流と孤食防止を図るため、高齢者が集い昼食を楽しめる「シルバーランチ」を開催し、交流の場を提供していく。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では館長自らが育児相談の相手となり、母親たちを支援したほか、乳幼児とその両親を対象とした体操や読み聞かせなど数多くの事業を実施した。

児童事業では、「イフオットイス」、「南千雑技団」などのサークル活動を行い、各行事で日ごろの成果を発表した。スポーツサークルである「サウザーズ」は地域貢献のため、地域清掃活動にも取り組んだ。

成人事業では、コーラスサークル「ミルフィューハーモニー」が、近隣の高齢者施設への慰問を行い、高齢者との交流を図った。

高齢者事業では、年間を通じ、踊りや合唱、レクダンス等の定例活動のほか、高齢者同士の親睦を図れるよう、館外活動として「駅前ツアーズ・合羽橋散策と寄席」を実施した。

世代別入館者数 カッコ内は昨年入館者数

幼児 10,163名(7,775名)

小学生 13,909名(14,065名)

中学生 777名(1,366名)

大人(高校生を含む) 15,133名(12,664名)

 内:高校生 647名(295名)

 内:18歳以上 14,486名(12,369名)

高齢者 12,587名(10,930名)

入館者数 52,569名(46,800名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	40,043,678	40,053,678	41,249,497	41,601,676
	決算	40,043,678	40,053,678	41,249,497	
支出	予算	40,043,678	40,053,678	41,249,497	41,601,676
	決算	35,205,579	38,148,864	38,213,075	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	4,838,099	1,904,814	3,036,422	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				76
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	3	60%	1.8
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
合計 (B)	10	-	-	8.4
評価内容				
美大や音大出身の職員が講師となって実施する絵画教室やコーラスなどの講座をはじめ職員のスキルや特技を活用した講座が充実している。利用者の意見や要望を反映した積極的な事業展開を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				104.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費等について経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、子どもスポーツサークルサウザーズによる清掃活動や、成人コーラスサークルミルフィーユハーモニーによる特別養護老人ホームへ慰問などの地域活動を積極的に取り組んでいる。また、南千住駅前に立地しているため、親子ふれあいひろばを22時まで開室するなど、地域特性に応じた館運営を高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】 汐入小学校敷地内 【延床面積】 1,237.38㎡ 【主な施設】 2階…事務室、サロン、多目的室、和室、図書室 3階…ブレイルーム、創作室、洋室、親子ふれあいひろば、学童クラブ室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

地域で乳幼児を育てている母親たちが集い、子育ての情報交換や悩みが相談できる場と活動を提供し、子育て支援を図る。

地域の子どもの居場所として、家庭や学校とは異なる環境で異年齢との交流を大切にしつつ、遊びやグループ活動を通して、子どもの生きる力、社会性を培っていくとともに、他者との関係を広げながらその関わりの中で自立への力を積み重ねられるようにする。受け入れ、関わりを深め、共に活動を展開しながら子どもたちの成長を見守り、支援していく。

世代間交流を図るため、地域の人々と共に事業計画をつくり、ボランティアへの協力も促進していくほか、地域の方々の活動の幅を広げるプログラムを展開していく。

高齢者の方々の居場所、活動の拠点としてのプログラムを企画、展開していく。事業を通じ、趣味等の生きがいづくり、仲間づくりを支援していく。

平成26年度の事業実績

汐入地域の、乳幼児が多い地域性に対応するため、乳幼児事業として0歳児新生児から年長児までの年齢別クラスを実施するなど、きめ細やかな対応を行った。また、母親向けの運動として「ピラティス」、「エアロビクス」を実施し、好評を得た。

小学生の来館者数が多いことを踏まえ、多目的室などの事業充実を図るとともに、小学生から高校生までを対象とした交流卓球大会、高齢者と子どもたちを対象とした交流わなげ大会を実施した。また、三世代の交流を図る目的から、乳幼児親子運動会を実施し、300名を超える参加があった。

成人及び高齢者の要望を踏まえ、「江戸深川資料館、清澄庭園」と「小石川後樂園」へのおでかけ企画を実施した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	12,182名(15,493名)
小学生	28,668名(29,844名)
中学生	2,000名(2,689名)
大人(高校生を含む)	18,372名(20,371名)
内:高校生	674名(120名)
内:18歳以上	17,698名(20,251名)
高齢者	8,007名(7,284名)
入館者数	69,229名(75,681名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	41,309,573	41,309,573	42,505,552	42,533,703
	決算	41,311,912	41,309,573	42,505,552	
支出	予算	41,309,573	41,309,573	42,505,552	42,533,703
	決算	40,890,422	40,568,771	39,165,991	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	421,490	740,802	3,339,561	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				66
事業に対する満足度が高い	40	4	80%	32
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	3	60%	6
合 計 (A)	100	-	-	82

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	4	80%	4
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	7.6
評価内容				
小学生の来館者数が最も多いため、小学生向けの事業の充実を図るほか、乳幼児クラスは定員を設けず受け入れ、クラスの月齢を細かく区切るなど、子どもの数が多い汐入地域の特性に対応したきめ細かい事業展開が行われている点を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				89.6
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	清掃委託費、運営費等について経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、きめ細やかな実施で定評のある乳幼児事業や児童事業の乳幼児親子運動会や小学生と地元老人会との合同わなげ大会などの世代間交流の事業にも取り組んだ。この交流により、お互いが顔見知りになることで街中で声を掛け合う仲になるなど、地域で子どもを育てていく場の一助を担った。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	峡田ふれあい館
	所在地	荒川区荒川三丁目3番10号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号池袋 I S P タマビル
施設開設年月日		平成23年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】1,295.36㎡ 【延床面積】1,767.90㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室 2階…和室1・2、洋室1・2、音楽室、調理 会議室 3階…多目的室、創作室、プレイルーム、学童クラブ室、相談室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

利用者との協同、地域との協同、働く人同士の共同を大切にす。人を主体者として信頼し、その成長に価値を置く。
利用者・家族・地域の人たちの参加の場をたくさん作り、一緒に創り上げる姿勢を大切にす館運営を実践する。
地域の課題を区民が主体となって解決していくことを通じて、地域の再生やまちづくりを目指すとともに利用者とのコミュニケーションを深め、また、意見箱を設置することで利用者の意見を吸い上げる。
利用者・区民をサービスの受け手に留めず、たくさんの方の力や意欲を活かした企画作りや運営参加を進めながら、自分たちのふれあい館をどのようにすべきかという、当事者として意見を出し合える関係を築き、ふれあい館の運営に反映していく。

平成26年度の事業実績

幼児タイムやママサークルを開き、母親同士の交流や、ベテラン職員による子育て相談などを行い、母親の居場所作りを努めたほか、ママサークルで実施したピラティスは大変な反響があり、多くの母親が参加した。
バンドを組んでいる中高生に対して音楽室を貸す「スタジオ峡田」事業を実施し、中高生の音楽活動を支援した。また、児童を対象としたパジャマパーティー、中高生対象の中高生合宿、バンド合宿など館内での宿泊事業を多く実施し、子ども同士の交流を深める場を提供した。
高齢者事業では、囲碁や民謡、舞やストレッチ事業については、専門の講師を呼び、事業の充実を図った。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	10,288名(11,912名)
小学生	20,220名(19,126名)
中学生	3,236名(3,325名)
大人(高校生を含む)	20,226名(22,530名)
内:高校生	2,027名(3,109名)
内:18歳以上	18,199名(19,421名)
高齢者	26,193名(25,411名)
入館者数	80,163名(82,304名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	45,509,998	46,162,153	48,531,692	49,168,624
	決算	45,502,216	46,162,153	48,531,692	
支出	予算	45,509,998	46,162,153	48,531,692	49,168,624
	決算	41,615,012	42,235,681	46,287,736	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	3,887,204	3,926,472	2,243,956	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				52
事業に対する満足度が高い	40	3	60%	24
職員の接遇がきちんとなされている	10	3	60%	6
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	3	60%	6
幅広い事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	71

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	9.2
評価内容				
<p>中高生や若者が地域で活躍できるボランティア養成に力を入れており、養成の成果を荒川三丁目中央会子ども祭りや峡田ふれあい館まつりなどで発揮したほか、館の事業を地元町会や商店街の協力のもと実施するなど地域活動の拠点として積極的に取り組む姿勢を評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				80.2
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	B
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	光熱水費が予算額を上回るなど管理費の縮減が課題である。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては中高生合宿、わくわくふれあいキャンプなど宿泊を伴う事業を多く実施し、子どもたちの自主性や自立心を高める事業として好評を得ているほか、ボードゲームやキンボールサークルなど館独自の取り組みを積極的に行った。また、グラウンドゴルフやシャンソンなどの特色ある高齢者事業を実施しており、高齢者の来館も多い館である。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、長期借入金が増加している等、一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、労務面は良好である。財務面については、一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日		平成18年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】665.77㎡ 【延床面積】1,230.26㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、和室1・2 2階…プレイルーム（親子ふれあいひろば）、創作室、茶室、洋室1・2、調理・会議室 3階…多目的室 屋上…屋上庭園 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児の保護者のためのリフレッシュ講座や子育て支援講座等を通じて、親子で楽しく利用できる場、子育ての情報が得られる場を提供する。
児童が安全・安心に過ごせる場と自主的サークルの支援の場を提供する。
青少年の健全育成を図るため、多目的室利用時間の拡充と自主サークルの支援の場を提供する。
高齢者の健康増進事業、交流事業及びふれあいランチなどを通じて一人暮らしの高齢者の閉じこもり防止事業を展開する。

平成26年度の事業実績

毎年4月に開催している「チューリップ鑑賞会」は館事業として地域に定着し、チューリップの球根を配布するなど今年も多くの方に楽しんでいただいた。
近隣の小学校の依頼を受けて5・6年生のふれあい館職業体験を受け入れたり、町会の餅つき会と一緒に参加するほか、高齢者の交流を図るため、ふれあいランチなどを実施し、地域の一員として積極的に交流事業を行った。
高齢者事業では、乳幼児との世代間交流活動である「じいじ・ばあばとあそぼ」や、高齢者事業に参加している方々が日ごろの練習の成果を互いに鑑賞する「山吹演芸会」を実施するなど、高齢者が生き生きと活動できる場を提供した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	11,909名(10,669名)
小学生	5,751名(6,732名)
中学生	854名(1,523名)
大人(高校生を含む)	13,809名(13,371名)
内:高校生	502名(690名)
内:18歳以上	13,307名(12,681名)
高齢者	15,206名(15,255名)
入館者数	47,529名(47,550名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,423,028	44,726,018	46,167,166	46,785,957
	決算	44,957,228	45,175,600	46,488,376	
支出	予算	44,423,028	44,726,018	46,167,166	46,785,957
	決算	44,957,228	44,989,321	43,404,648	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	186,279	3,083,728	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				66
事業に対する満足度が高い	40	4	80%	32
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	82

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	4	80%	4
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
合計 (B)	10	-	-	8.6
評価内容				
親子健康体操教室や新一年生の親子料理など、親子で楽しみながらスキンシップを図る事業が充実しており乳幼児親子の来館者が多く、親子で楽しく利用できる場、子育ての情報が得られる場を提供する活動を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				90.6
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	清掃委託費、保守関係費用等について経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、自己資本がマイナスで、短期借入金も増加してきており、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性について改善すべき点が見受けられる。	C	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては春のチューリップ鑑賞会、夏の縁日あそび、秋のお月見コンサート、冬の町会合同餅つき会と乳幼児から高齢者まで、ともに楽しめる季節感のある事業が充実しており多世代交流が活発に行われている。また、初めてののお琴やこどもの茶道教室など、特色ある施設を活かした事業も実施しており、文化の伝承にも力を入れている。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、法人決算が改善傾向にあるものの、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等について改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、労務面は良好である。財務面については、法人決算に改善すべき点が複数あるが改善の見込みがあり、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	町屋ふれあい館
	所在地	荒川区町屋一丁目35番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】1,331.07㎡ 【延床面積】1,496.30㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2 2階…プレイルーム、創作室、窯室、音楽室、洋室、授乳室・相談室 3階…多目的室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、更衣室、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

地域における乳幼児子育ての支援活動を拡大する。
子どもたちに健全な遊びを提供し、心身の育ちを支援する。
中学生の居場所づくりと余暇活動を支援する。
地域の人々の交流をを助け、創作などの諸活動の表現の場となるように支援する。
成人・高齢者の諸活動を支援し、交流を広げる。
地域の方々から発信企画されたものを、諸活動として実現できるように支援する。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、クラス活動を複数に分け、少人数でアットホームな活動を行った。登録制の活動以外にも、身長体重の測定や手型足型をとることができる活動を実施し、多くの方が参加した。
児童・中学生事業ではスポーツを主とする数多くの活動を行い、異年齢、学校間交流の機会とし、また、窯室を活用して親子陶芸教室や子ども対象の陶芸教室を実施するなど、館独自の事業を積極的に行った。また、登録制のダンスサークルなども実施し、町会主催の夕涼み会でのダンス発表等を通して地域の方々との交流を深めた。
成人事業では、カラオケ・民謡・ヨガ・ギター教室など利用者の要望を取り入れながら実施した。特に人気のヨガ活動は、新たに「成人ヨガ」を設けて利用者の需要に対応した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年の入館者数
幼児	10,863名(9,077名)
小学生	14,290名(10,842名)
中学生	5,406名(4,033名)
大人(高校生を含む)	9,991名(8,458名)
内:高校生	315名(50名)
内:18歳以上	9,676名(8,408名)
高齢者	13,117名(8,687名)
入館者数	53,667名(41,097名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	45,385,038	46,461,005	48,032,570	48,064,375
	決算	45,385,038	46,461,005	48,032,570	
支出	予算	45,385,038	46,461,005	48,032,570	48,064,375
	決算	45,400,856	44,316,297	44,443,161	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-15,818	2,144,708	3,589,409	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				78
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	5	100%	10
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	98

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合 計 (B)	10	-	-	10
評価内容				
<p>地域に根ざす地域密着型ふれあい館を目指し、館内の明るい雰囲気づくりに取り組んでおり、サロンは児童・生徒には娯楽や勉強の場所、高齢者には団らんの場所として整備を図り利用者を増やすなど、地域交流の拠点づくりに積極的に取り組む姿勢を評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				108
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	光熱水費、設備保守費が縮減されている。利用者増で運営費が増加している。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、事業の実施にあたり、日頃から丁寧な指導が好評を得ており、特にマカロンをはじめとする幼児サークルも人気サークルに成長した。交流フェスタでは80名を超える子どもたちの参加があり、保護者や来場者から好評を得た。また、サロンの整備や事業の充実を図ることで、入館者数の前年比で130%増加するなど、積極的な館運営を高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目13番2号
指定管理者	名称	株式会社大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区町屋五丁目10番9号
施設開設年月日		平成16年10月26日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成16年10月26日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】783.58㎡ 【延床面積】1,215.43㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、多目的室 2階…プレイルーム、創作室、調理・会議室 3階…和室1・2、洋室1・2、音楽室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児事業では、地域の社会資源や子育て経験のあるボランティア等の人的資源を活用した子育て支援を実施する。子育てによる孤立化を防止し、仲間づくりを促進するため、乳幼児とその母親が気軽にふれあい、交流ができる場を提供する。

児童事業では、自主的な運動活動と創作活動の支援を通して、個性や可能性・能力を伸ばし、健康な心と身体を持ちたくましく生きる力と「論理的・道徳的・美的情操」を豊かにする心の教育を行うことにより感情豊かな心を育てていく。

中高生事業では、限られた時間の中で中高生が思い切り身体を動かせる専用時間を日々設け、職員も一緒に活動することにより、中高生と信頼関係を築き、気軽に立ち寄れる環境を整備する。

成人事業では、健康づくりと生涯学習をテーマとし、文化・スポーツ・健康作り等の活動、アンケート調査を参考にした新規事業の実施と、勤労者が参加しやすい新規事業を展開していく。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、子育て支援を図るため地域の社会資源や地域ボランティア等の人的資源の活用を目的として、幼児タイムを実施した。また児童事業では、児童に健全な遊び場を提供し、健康増進と情操を豊かにすることを目的として、ルールを守って遊ぶ楽しさを知ってもらい学年を超えた仲間づくりを図る活動を実施した。

また、当館の指定管理者である株式会社大起エンゼルヘルプが得意とする介護分野のノウハウを生かした家族介護者教室、鉄道模型の展示と体験運転を主とする荒木田トレインフェスティバル、多目的室を利用した社交ダンスパーティーなど、館独自の事業を数多く実施し、地域の関心を集める努力をした。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	9,806名(10,881名)
小学生	17,880名(17,365名)
中学生	6,515名(2,417名)
大人(高校生を含む)	18,339名(20,966名)
内:高校生	388名(2,282名)
内:18歳以上	17,951名(18,684名)
高齢者	10,338名(9,809名)
入館者数	62,878名(61,438名)

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,827,233	45,178,988	46,653,735	47,301,126
	決算	44,827,223	45,178,988	46,653,735	
支出	予算	44,827,233	45,178,988	46,653,735	47,301,126
	決算	44,679,070	45,000,656	47,832,927	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	148,153	178,332	-1,179,192	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				17
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				66
事業に対する満足度が高い	40	4	80%	32
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	83

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	4	80%	4
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
合計 (B)	10	-	-	8.6
評価内容				
<p>来館者や事業の参加者からの講師登用に力を入れており、これまでの経験やキャリアを活用した数多くの講師が登壇した。また介護者教室を実施するなど、地域の介護力向上を図り高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会づくりを目指す姿勢を評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				91.6
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	役務費で縮減努力がなされている一方、収支差額において予算を上回っている。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性について一部改善の必要が見受けられるものの、3期とも経常利益を確保しており、自己資本比率が高い。	B	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、小中学生に人気の一輪車教室、成人対象の快眠ヨガ教室、鉄道模型の展示と走行体験ができる荒木田トレインフェスティバルなど、多種多様な事業を数多く実施しており、区内外から多くの関心を寄せられている。また、古典舞踊教室や日本の伝統を食べようは、楽しみながら健康増進と伝承文化を学べる事業として親しまれている。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等について一部改善の必要が見受けられるが、改善される見込みがある。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、労務面は良好である。財務面については、法人決算に一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久二丁目25番13号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号池袋 I S P タマビル
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】741.17㎡ 【延床面積】2,223.88㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室・相談室 2階…プレイルーム、創作室、学童クラブ室 3階…和室1・2・3、洋室1・2・3 4階…レクホール、多目的室 5階…調理実習室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、更衣室、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

日常活動を活発にし、子どもが主体となって実行委員会での行事活動ができるよう、年間を通して子どもたちが楽しみ、幼児と保護者がいつでも安心して遊べる環境づくりを行う。

創作活動については創作室を利用し、様々な素材で遊べるものや、使えるもの、飾れるものを製作し、ものを作る楽しさを通して創造力を高める活動を行う。また、創作室を囲碁事業の場としても活用し、子どもたちと高齢者の交流を促進する。

プレイルームは、遊び場としての環境を整えると同時に、子ども同士が交流できる場とするほか、またランチタイムの場所としても開放する。

多目的室は、幼児の集団活動の場として活用するとともに、運動を中心に異年齢の子どもたちが楽しく集団遊びができるようにする。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では年齢別に3つのクラスで事業を行い、各クラスとも参加者からは「子育ての不安が和らいだ」と好評であった。都電を貸し切って実施する遠足のほか、運動会、クリスマス会、お別れ会など季節の行事を随時取り入れ、子どもたちの成長を感じることができるプログラムを行った。また、児童事業ではJRの現役運転手さんとの交通安全教室や新聞紙雪合戦など、子どもたちの関心を引くような事業を計画し、実施した。他にも、尾久ふれあい館まつりを実施し、利用者からなるボランティアスタッフや児童・中高生にお願いしたお祭り実行委員が協力して運営を行った。盆踊りやお化け屋敷も同時に行い、乳児から高齢者まで幅広い参加があった。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	11,490名(11,108名)
小学生	16,919名(20,233名)
中学生	4,358名(2,555名)
大人(高校生を含む)	30,883名(30,021名)
内:高校生	1,579名(1,182名)
内:18歳以上	29,304名(28,839名)
高齢者	31,579名(37,421名)
入館者数	95,229名(101,338名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	46,845,898	47,842,628	49,098,280	49,971,041
	決算	46,835,813	47,842,628	49,098,280	
支出	予算	46,845,898	47,842,628	49,098,280	49,971,041
	決算	42,198,761	47,806,361	49,037,974	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	4,637,052	36,267	60,306	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				66
事業に対する満足度が高い	40	4	80%	32
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	86

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	9.4
評価内容				
小中高生が乳幼児の遊び相手になったり絵本等の読み聞かせをするハッピーベイビータイムや利用者がボランティアスタッフとして運営するふれあい館まつりなど多世代交流事業が充実しており、利用者が主体となり利用者と一緒に事業を実施する工夫を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				95.4
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	電気代、電話料、複写機賃借料が増加している一方、清掃委託費、本部経費が減少している。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては地元商店会のおまつりや地元町会のクリスマス会などに、中高生ボランティアと一緒に企画から当日の運営までスタッフとして参加することで地域の仲間として密接な関係が作られ、継続的な繋がりができている。また乳幼児親子や高齢者向けの事業はどの事業も満員になるなど、利用者の満足度の高い良質なプログラムが組まれている。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目33番31号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成16年10月12日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月12日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】777.68㎡ 【延床面積】1,189.16㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2 2階…プレイルーム、創作室、洋室1・2、学童クラブ室 3階…多目的室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児の子育て支援事業として、幼児タイム等の事業を行う。また、親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境を作るほか、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を実施する。
多く子どもたちが参加できるようなサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図りながら生活体験を豊かにしていく。中高生が参加しやすい活動の充実に努め、健全な育成と交流の基点の場となるよう展開していく。
区民相互の交流と自主的活動促進の援助を行うほか、ボランティアによる各種講座を設立し、文化的生活の向上や余暇の充実が図れるように支援していく。
健康生活の支援と文化的生活の向上に寄与し、心豊かな地域社会の形成に貢献できるように努める。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、子育てカウンセラーや館長による育児相談を行い、母親たちの子育てに関する悩みの解消に努めた。また、乳幼児やその保護者が友だちとの遊びや親子でふれあうことの楽しさを体験し、交流をする場として、幼児タイムや保護者がリフレッシュする内容を企画し、実施した。また、子育てに関する情報提供や育児相談等を保健師、主任児童員、民生委員、地域のボランティアの人々と連携をとり事業を展開した。
児童事業では、幼稚園児のダンスサークル「きらきらキッズ」を立ち上げて通年実施し、中高生事業では、中高生が企画した中高生サークルを年8回実施するなど、子ども同士が交流できる事業を実施した。
高齢者事業では、年間を通じて踊りやダンス、合唱等の定例活動のほか、高齢者同士の親睦を図れるよう「大人の遠足」等を実施した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	15,161名(15,949名)
小学生	11,112名(12,191名)
中学生	2,502名(2,400名)
大人(高校生を含む)	15,946名(16,515名)
内:高校生	504名(649名)
内:18歳以上	15,442名(15,866名)
高齢者	10,463名(10,652名)
入館者数	55,184名(57,707名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,646,935	45,022,522	47,175,817	47,762,796
	決算	44,646,935	45,022,522	47,175,817	
支出	予算	44,646,935	45,022,522	47,175,817	47,762,796
	決算	42,469,788	40,959,715	42,416,977	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	2,177,147	4,062,807	4,758,840	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				17
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				60
事業に対する満足度が高い	40	3	60%	24
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	5	100%	10
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	77

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	8.6
評価内容				
高齢者デイサービス施設に「ミニボランティア実行委員会」の小学生の訪問や地元町会の協力のもと実施する乳幼児事業の「おもちつき」など地域活動の拠点として積極的に取り組む姿勢を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				85.6
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費の縮減、ゴミの出し方の工夫などにより、経費が削減されている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、ミニコミ誌サークルの小学生が地域イベントを主催する団体の取材から交流が始まり、スタッフとしてあらかわハロウィンに参加するなど、館の事業が地域活動に参加するきっかけとなっている。またふれあい館まつりをはじめ各事業において、幼児ダンスサークルと高齢者事業レクダンスの参加者が一緒に踊るなど、世代間交流を積極的に行っている。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】都営東日暮里1丁目アパート内 【延床面積】1,176.87㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、和室1・2、洋室1・2、音楽室 2階…プレイルーム（親子ふれあいひろば）、創作室、多目的室、学童クラブ室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児から児童、青少年、成人、高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集う、ふれあいと相互交流の場を提供する。
地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場を提供する。
遊び、文化、スポーツ、健康づくり、教養娯楽活動等を通じて、地域コミュニティの形成を図る。
利用者のニーズに応え参加しやすい事業展開を図ることで利用の拡大に努める。
各関係機関、地域との連携を取り、安全・安心な環境づくりに努める。

平成26年度の実績

乳幼児事業では、幼児タイムの参加希望者がより多く参加できるよう、活動場所などを検討して対応し、内容もよく吟味して親子参加型や季節を意識した行事など、参加者が楽しいと思える事業となるよう工夫した。
児童事業では、異年齢、他校との友達づくりやその関わりの中で互いの成長を促すよう事業を展開した。また、「こども会議」や「デイキャンプ」などの大型行事を行う際には子どもたちの中から実行委員を決め、子どもたちが自分たちの意見を出し合い実施した。
中高生事業としては、中高生活動支援として音楽室を開放し、ドラムセットやアンプ等を新規に設置するなど、音楽活動やダンス等の練習を支援した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	15,524名(12,680名)
小学生	19,670名(20,135名)
中学生	1,270名(618名)
大人(高校生を含む)	18,702名(15,144名)
内:高校生	105名(50名)
内:18歳以上	18,597名(15,094名)
高齢者	7,257名(6,658名)
入館者数	62,423名(55,235名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,568,238	44,832,264	46,291,078	46,476,404
	決算	44,467,843	44,832,264	46,291,078	
支出	予算	44,568,238	44,832,264	46,291,078	46,476,404
	決算	44,434,638	43,987,397	45,794,654	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	33,205	844,867	496,424	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				80
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	5	100%	10
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	99

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	9.4
評価内容				
隣接する保育園の園児と高齢者事業の参加者が年間を通じ交流を行っており、季節行事やふれあい館・保育園の行事へ互いに参加するなど地域と連携した多世代交流を積極的に実施することで、出会いやふれあいを促進し地域に根ざした施設運営を行っている点を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				108.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	B
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	光熱水費が予算額を上回るなど管理費の縮減が課題である。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、館の大きな行事は小学生が実行委員となり行事運営の中心的な役割を担っている。この実行委員の経験がきっかけとなり、デイキャンプやお泊り会などをサポートする中学生が増えている。また、地元町会主催の盆踊り大会において、浴衣着付け教室や盆踊り練習会など行事と連携した事業を展開し地域に根ざした館の取り組みを高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、予算管理や経費縮減について一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、労務面についても良好である。財務面については、一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】1,966.77㎡ 【延床面積】1,570.00㎡ 【主な施設】3階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、創作室、洋室1・2、和室1・2、授乳室 4階…多目的室、レクリエーションホール その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

事業計画は以下の5本柱をもとに体系化する。

- 「区民の幸福実感と地域活性化を推進する、日暮里地区における拠点施設となる」
- 「歴史と文化、布の街、ものづくりの街など日暮里を学び発信する施設をつくる」
- 「区内初の保育園併設ふれあい館としての特色を生かした施設運営を目指す」
- 「地域の団体やグループ活動の支援と交流拠点となる開かれた施設運営を目指す」
- 「3A（安全・安心・明るい）5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）が行き届いた施設運営を目指す」

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、親子のふれあいをテーマにしたリトミックや読み聞かせ、運動遊びなどを実施して楽しいひと時を過ごせるよう努めた。また、母親向けに託児付ママピラティスを開くなど、リフレッシュや母親同士の交流の場を提供した。

子どもたちの心と身体の健康増進を図るため、ダンスサークル「カラーズ」や手話音楽サークル活動を継続的に実施し、発表機会の拡充に努めた。

多世代交流事業では、街に出てウォーキングをしたり、音楽を聴いたり、楽しい娯楽の時間を過ごすために「にっぽり・やなか散策」を実施し、非常に好評であった。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	14,399名(9,342名)
小学生	16,172名(17,262名)
中学生	2,356名(2,297名)
大人(高校生を含む)	17,507名(10,483名)
内:高校生	297名(182名)
内:18歳以上	17,210名(10,301名)
高齢者	15,729名(7,727名)
入館者数	66,163名(47,111名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算		46,060,288	48,751,220	48,445,724
	決算		46,096,580	48,762,969	
支出	予算		46,060,288	48,751,220	48,445,724
	決算		46,096,580	48,762,969	
収支	予算		0	0	0
	決算		0	0	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				76
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	10
評価内容				
子育て中のママの心身のリフレッシュに積極的に取り組んでおり、託児サービスのあるママピラティスなどの充実した事業に定評があり、親子ふれあいひろばや巡回育児相談など、子育て情報の交換や助け合える関係を構築できる環境づくりを推進している点を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				106
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費を増額した一方、節電、日常清掃を職員が行っている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスではにっぽりを学び伝承するをテーマに荒川区観光ボランティアと行くにっぽり・やなか散策、日暮里地区の指物師が講師の箸づくり教室、併設する保育園の園庭で行われたおすもうさんの餅つきと相撲甚句など伝統文化に身近に触れる事業が充実している。地域を知ることにより、入館者数前年比で140%増加するなど、積極的な館運営について高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】776.20㎡ 【延床面積】1,261.63㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、和室1・2 2階…創作室、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、洋室1・2、音楽室 3階…多目的室 その他附属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、壁面緑化パネル</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児から児童、青少年、成人、高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集う、ふれあいと相互交流の場を提供する。
地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場を提供する。
遊び、文化、スポーツ、健康づくり、教養娯楽活動等を通じて、地域コミュニティの形成を図る。

平成26年度の事業実績

日暮里地域演芸会やにっぽりタヤけ文化祭に参加し、舞踊やダンス、カラオケや詩吟などの発表を行い、地域コミュニティの活性化に貢献した。
乳幼児事業では、利用者の需要に対応するために幼児タイムを7クラス実施し、多くの乳幼児を受け入れることが出来る体制を整えた。また、「パパとあそぼう」など父親が参加できる行事を充実し、子育てに楽しく参加できるよう支援を行った。
児童事業では、ダンスサークル「JUMP」が人気サークルに成長し、東京都児童館交歓フェアや川の手あらかわまつり等で発表を行い、好評を得た。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	17,215名(16,852名)
小学生	6,139名(8,272名)
中学生	2,178名(736名)
大人(高校生を含む)	21,224名(22,522名)
内:高校生	98名(312名)
内:18歳以上	21,126名(22,210名)
高齢者	8,338名(7,991名)
入館者数	55,094名(56,373名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,467,843	44,706,721	46,724,021	46,948,581
	決算	44,467,843	44,706,721	46,724,021	
支出	予算	44,467,843	44,706,721	46,724,021	46,948,581
	決算	44,434,638	44,316,152	45,975,329	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	33,205	390,569	748,692	0

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				74
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	94

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	9.4
評価内容				
<p>幼児タイムにおけるアイデアあふれる充実したプログラムや丁寧な指導が好評であり、夏休み等における異年齢の子どもたちと交流を図るアイアイタイムなど、子どもたちが安心して過ごせる館の取り組みについて評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				103.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	B
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	光熱水費が予算額を上回るなど管理費の縮減が課題である。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、丁寧な指導で人気のある乳幼児事業をはじめ、人気サークルに育てあげた「JUMP」の活動や地元商店街で実施するハロウィーンパレードを地域ぐるみの大型行事に発展させ、地域の活性化を生み出すなど、地域活動の拠点としての館の積極的な取り組みについて高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、予算管理や経費縮減について一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、労務面についても良好である。財務面については、一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川7-20-1
指定管理者	名称	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団
	所在地	荒川区荒川7-20-1
施設開設年月日		昭和63年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習、文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。 【施設概要】 会議室4室（33人～45人）、多目的ホール（154人）、音楽練習室、ふれあい広場
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。 ・カルチャー講座では、絵画や音楽、外国語など幅広いジャンルの講座を実施する。 ・自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できる「なないろひろば」や「一日文化体験フェア」等を開催し、普段あまり来館しない利用者層にも足を運んでもらうきっかけ作りとする。 ・26年度も昨年度と同様に年2回のアンケートのほか、意見箱・懇親会等により、時期によって異なる要望を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。 ・貸出施設及び館内の案内・施設問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー講座では672講座を実施し、受講者は4,784人であった。 ・26年度は25年度に引き続き自主事業として「なないろひろば」「一日文化体験フェア」等を開催し、コンサート・能楽ワークショップ・絵手紙コンテストなど、講座の受講者募集のみならず、幅広い年齢層の区民に親んでもらえるよう努めた。 ・貸出施設及び館内の案内・施設等問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施した。 ・朝礼等により職員及び再委託先との情報共有に努め、サービスの向上を図った。 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	36,207,000	36,207,000	36,906,000	37,892,000
	決算	37,130,517	37,164,284	37,710,828	
支出	予算	36,207,000	36,207,000	36,906,000	37,892,000
	決算	36,949,645	36,869,599	36,892,068	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	180,872	294,685	818,760	0

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
区民サービス	70			56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	4	80%	16
施設の維持管理	30			22
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	3	60%	6
合計（A）	100	-	-	78

評価内容＜区民サービス＞

施設利用等の満足度が高い	<p>・利用者アンケートは10～11月に1回実施し、施設利用については、全体の約35%が「利用しやすい」と回答し、4.3%が「やや利用しやすい」、約48%が「普通」と回答している。また、職員の対応については、利用者の約79%が「とても良い」または「良い」、18%が「普通」と回答している。前年度と比べて、数値はいずれも上昇しており、サービスの向上が認められた。</p>
防災計画に明示されている訓練等を行っている	<p>・地震・火災・侵入者への対応等、事例ごとの対応マニュアルを作成している。</p> <p>・イーストヒル町屋管理組合と合同で防災訓練を2回実施し、大地震を想定した避難誘導の実施、消火器による消火訓練、階段避難器具の操作訓練など、実践的な訓練を行った。</p>
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	<p>・利用者からの「施設・設備が古い」、「多目的ホールの床が汚れやすい」などの意見に対し、順次、机・椅子等の設備を更新したり、ワックスの種類を変えたりするなどの工夫をして対応している。</p> <p>・受付窓口が2階にある施設配置を踏まえ、1階フロア（トイレ等）での不審者対策など、安全管理への対応が求められる。</p>

評価内容<施設の維持管理>				
快適に利用できるための施設管理がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常及び月別点検を行っているほか、エレベーターや自動ドア、ピアノ等設備の保守点検、防火対象物点検等の委託業務について、適切に行っていることを報告書等で確認している。また、環境配慮の一環として、夏季に緑のカーテンを実施するなど、快適で利用しやすい施設づくりに努めている。 			
業務遂行に必要な職員が配置されている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町屋文化センターの指定管理は、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団管理系の事務の一部として実施されており、業務に必要な職員が配置されている。また、主担当職員のほか、事業実施等の際は、係員全員で対応できる体制づくりに取り組んでいる。 			
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝礼などのOJTの実施に加えて、外部講師による接遇研修等を実施するべきである。 ・ 職員は、来館者の緊急事態に対応できるよう上級救命講習を定期的に受講している。 			
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
地域との協働内容	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	3	60%	3
合 計 (A)		10	-	7
評価内容				
地域との協働内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「バラの市盛り上げ隊」への参加や「一日文化体験フェア」への地元商店の参加・協賛の呼びかけなど、地域に密着した施設づくりを行った。 ・ 「なないろひろば」や「ふれあいミニコンサート」等を引き続き開催し、近隣区民が気軽に立ち寄れる事業の充実を図っている。 			
区内事業者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 26年度は12の再委託業務のうち7業務について区内の業者に再委託した。 ・ 修繕工事や消耗品の購入においても、区内業者を活用するよう配慮している。 			
改善すべき点等				
合計 (A+B)				85
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、経費計算の精度向上に向けた努力が見られる	S	S
	予算管理が適正である	カルチャー講座収入の増加による収入改善により、収支差額が過年度に比べ向上している。	S	
	経費縮減の努力が行われている	一部経費に予算超過があるが合理的な理由が示され、また経費削減努力が見られる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用及び職員対応等に関するアンケートを実施し、利用者のニーズの把握と迅速な対応に努めている。26年度は、アンケート結果を踏まえて、再委託先職員との打合せを行うなどにより、接遇の改善を図った。 区民が気軽に参加できる「1日文化体験フェア」に加え、コンサートや落語、講演会など多彩な内容の催しに無料で参加できる「なないろひろば」等の自主事業により、これまで施設を利用したことがない区民の来所を促すなど、利用者層の拡大を図っている。 利用しやすく安全な施設の管理運営に努めながら、指定管理事業、自主事業を通じて、生涯学習や芸術文化鑑賞、区民の交流の場の創出、利用率向上に向けて努力していると評価できる。
財務・労務面	<p>財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正である。また指定管理者である公益財団法人荒川区芸術文化振興財団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p>
総合評価	<p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、接遇の改善や事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。</p>

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立生涯学習センター
	所在地	荒川区荒川3-49-1
指定管理者	名称	株式会社 読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄1-2-1
施設開設年月日		平成9年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や、多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室（30人～80人）、音楽室（40人）、多目的室（60人）、コンピューター室、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>	

平成26年度の事業計画

- ・「区民カレッジ」は、多くの受講者の要望に応えられるよう、新講座の開設とともに、過去の講座についてより内容を深めたり、異なった視点で楽しめるような講座を検討する。春と秋に実施する特別講演会については、より多くの方が参加できるよう、会場をサンパール荒川小ホールに移して実施する。
- ・「IT講習会」は、初歩的な講座より実践的な内容を求める傾向が強くなっていることから、「エクセルの表計算」や「パワーポイント」「ブログ」「年賀状作成」などの実用講座を増やし、区民のパソコンスキルの向上を支援していく。
- ・「日常業務」においては、施設管理について、経年劣化の見られる設備に対して必要に応じて計画的に修繕を行う。受付業務について、来館者の要望に迅速に対応するため、新たに館内に「要望・意見箱」を新設する。また、引き続き5月から11月まで事務所窓口のガラスを外すなど、顔の見える対応を徹底する。

平成26年度の事業実績

- ・「区民カレッジ」は、著名な外国人講師による講座（森から見る未来）など、新たな取組を実施し、全ての講座で定員を超える申込みがあった。年間受講者数は、前年度に比べて341人増加し3,921人となった。（講座実施数：57回）
- ・「IT講習会」は、昨年に引き続き、1人ひとりの受講者のニーズに対応するために、段階的な講座構成により実施し、同時に、実践的講座を増やした。（実施数51講座・受講者数2,623人）
- ・「日常業務」では、施設管理として、正面ブロック塀の改修工事等を実施した。また、受付業務について、昨年に引き続き、マナー講師を招いての接客研修を実施したほか、5月から11月の間は事務所窓口のガラス戸を外す、緑のカーテンで実ったゴーヤを希望者へ配付するなど、接遇の向上と利用者に親しまれる雰囲気づくりに努めた。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	62,454,000	64,764,000	64,188,000	63,222,000
	決算	62,461,341	65,038,644	64,490,072	-
支出	予算	62,454,000	64,764,000	64,188,000	63,222,000
	決算	61,228,453	64,531,467	63,623,355	-
収支	予算	0	0	0	-
	決算	1,232,888	507,177	866,717	-

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
区民サービス	70			56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	4	80%	16
施設の維持管理	30			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	3	60%	6
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	3	60%	6
合 計 (A)	100	-	-	76

評価内容＜区民サービス＞

施設利用等の満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート結果では、「非常に良い」「良い」との回答の合計が、受付対応について全体の約71%となり、前年より約4%増加した。電話対応については全体の約50%となり、前年より2%増加した。2年連続して評価が上昇しており、サービスの向上が認められる。 ・区民カレッジは、講座内容に工夫が見られ、受講者数も2年連続して増加するなど好評である。
防災計画に明示されている訓練等を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川区立生涯学習センター自衛消防隊火災総合訓練実地要綱に基づき、教育センター等と合同で防災訓練を実施した。センター内での出火を想定し、館内放送、避難誘導、消火器操作、館内の防火設備の確認等を行った。
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や苦情は区に迅速に報告し、区と協力して事態の把握と再発防止の対応を行っている。

評価内容<施設の維持管理>				
快適に利用できるための施設管理がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃業務、エレベーター保守点検業務等は、業務委託により実施されており、報告等で適切に行われていることを確認している。 26年度は、修繕工事として、正門ブロック塀、屋外トイレ排水管改修工事等を行った。 			
業務遂行に必要な職員が配置されている	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の日中の窓口業務や事務、施設全体の管理運営、緊急時の対応等の業務については常勤職員が行っている。夜間・休日の窓口業務は、パートやシルバー人材センターの委託職員が行っている。 ・夜間や休日の窓口体制については、危機管理の観点から改善を図るべきである。 			
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇研修は、前年度に引き続きマナー講師を招いた研修を実施し、職員全員が受講した。ジャンパー着用等による意識向上や、窓口配置の改善等により接遇の向上を行っており、今後も継続的な取組が望まれる。 			
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
地域との協働内容	5	5	100%	5
区内事業者の活用	5	3	60%	3
合 計 (A)	10	-	-	8
評価内容				
地域との協働内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターを活用するとともに、パート職員において区民を積極的に採用している。26年度3月期パート職員12人のうち9人(75%)が区民であった。 ・多目的広場について、近隣保育園の遊び場、町会行事の活動場所として提供しているほか、地元町会と一緒に防災訓練を行うなど、地域と連携しながら運営している。 			
区内事業者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度は12の再委託業務のうち7業務について区内の業者に再委託した。 ・修繕工事や消耗品の購入においても、区内業者を活用するよう配慮している。 			
改善すべき点等				
合計 (A+B)				84
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、加えて詳細な経費積算資料が作成されている。	S	S
	予算管理が適正である	一部計画外の支出が見られたが、合理的な理由と改善の見込みが示された。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費削減努力の結果、支出合計の実績額が予算額を下回り、また収支差額が前年度より改善した。	S	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	健全な収益力を有し、内部留保の蓄積が進んで、安全性を含めた総合的な財務力の強化が進んでいる。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。	A	

総評

サービス面	<p>・区民カレッジは、新たな分野の講座を実施するとともに、講座内容の充実を図っており、講座応募者数も前年度比9.5%増となった。このことは「より幅広い区民に生涯学習の機会を提供し、区民の学習意欲を刺激し、豊かな人生の実現に貢献する」という事業計画を実現したものと評価できる。</p> <p>・事務所窓口のガラス戸を外して受付業務を行うなど、利用者が親しみやすい施設づくりを進めるとともに、接遇の向上に努めた結果、利用者アンケートの結果でも受付対応、電話対応とも2年連続して評価が上昇しており、区民サービスが向上していると評価できる。</p>
財務・労務面	<p>財務面について、経過勘定処理の適正化などの努力がなされている。また指定管理者である株式会社読売・日本テレビ文化センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、計画外の支出抑制に向けて予算制度の一層の向上が図られるとなおよい。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p>
総合評価	<p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、接遇の改善や事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。</p>

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立清里高原ロッジ・荒川区立清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町清里3545-5
指定管理者	名称	ニッコクトラスト・東京パワーテクノロジープロジェクト
	所在地	東京都中央区日本橋堀留町2-4-3 新堀留ビル9階
施設開設年月日		昭和58年4月15日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等を行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 ・ロッジ：宿泊室12畳5室、9畳（ベッド）1室 研修室洋間55㎡、談話室、食堂、浴室 ・少年自然の家：宿泊室24.5畳10室、研修室24.5畳1室 リーダー室10畳2室・8畳2室、食堂、浴室、体育館 ・開設期間（平成26年度）：4月26日（土）～11月4日（火）
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務（清里の気温や天気等リアルタイムの情報提供、利用者とのコミュニケーションの向上等）、賄業務（食事選択制の継続、特別料理の提供）、清掃業務、機械設備等の保守点検業務を適切に実施する。 ・施設周辺に小売店がないことから、施設利用者の利便性の確保及び利用者サービスの向上を図るため、清里高原ロッジ食堂内に、引き続き飲料やビール等の自動販売機を設置する。 ・広報活動（ホームページの定期更新、町屋駅への広報ポスターの掲載等）を実施する。 ・自主事業業務として、バスツアーを実施する。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務、賄業務、清掃業務、機械設備等の保守点検業務は、適切に実施することができた。施設利用者は、前年度と比べて一般利用で179人、学校利用で181人が増え、合計で360人の増加となった。 ・地産野菜のサラダバーや、朝食時の地元工場生産の牛乳等の飲料サービスなど、地域資源を活かしたおもてなしを実施できた。また、バスタオルや浴衣の浴用アメニティは、引き続き好評であった。 ・施設内に設置した、自然環境への啓発を趣旨とした展示物については、内容の充実を図った結果、子どもだけでなく大人にも興味・関心を持たせることができた。 ・一般区民を対象としたバスツアー（ハイキングツアー）は、応募数が催行人数に届かず中止となったが、シルバー大学の方々向けに企画したツアーを11月に実施することができ好評であった。 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	75,991,280	77,328,000	77,760,000	77,220,000
	決算	75,215,785	75,986,918	77,346,032	
支出	予算	75,991,280	77,328,000	77,760,000	77,220,000
	決算	75,914,991	75,877,938	77,006,914	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-699,206	108,980	339,118	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
区民サービス	70			52
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	3	60%	12
施設の維持管理	30			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	3	60%	6
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	3	60%	6
合 計 (A)	100	-	-	72

評価内容＜区民サービス＞

施設利用等の満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートは営業期間中、学校利用者を除く一般利用者を対象に実施した。「良い」と回答した利用者の割合は、職員対応に関する項目については96.3%、施設衛生に関する項目については90.1%となり、全体として利用者の評価は高かった。 ・26年度は、シルバー大学の方々向けのツアーを提案し、実施することができ好評であった。
防災計画に明示されている訓練等を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・厨房からの出火を想定した初期消火や通報、誘導に関する訓練を計画どおり年2回実施し、各職員が、避難誘導や初期消火の手順等の確認を行った。
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情やトラブルは区に迅速に報告し、区と協力して対応した。 ・移動教室等におけるアレルギー対応については、マニュアルに沿った確認の徹底を図るなど、事故防止に向けた取組が求められる。

評価内容<施設の維持管理>	
快適に利用できるための施設管理がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常点検や保守点検を適切に行い、異常箇所については迅速に修繕を行っている。また、機械設備の点検業務等の委託業務は、報告書等で適切に実施していることを確認している。 ・ 26年度は、敷地内の雑木林の整備を行い、快適な施設環境整備を図った。
業務遂行に必要な職員が配置されている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通年開設の施設ではないため従業員の確保が課題である中、繁忙期には他の事業所からの応援体制を組んで対応している。 ・ 従業員については、3年以上継続勤務している者は、常勤6名のうち3名、非常勤7名のうち2名となっており、従業員の定着のための工夫が求められる。
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒防止のための食品衛生講習を、年1回実施している。また、利用者の個人情報保護を徹底するための研修、災害時対応を目的とした危機管理講習等の受講などを実施している。

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
地域との協働内容	5	4	80%	4
自然学習への取組	5	3	60%	3
合 計 (A)	10	-	-	7

評価内容	
地域との協働内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地産野菜を使用したサラダバーを実施しているほか、地元工場が生産された牛乳等を提供している。26年度は、地域のシルバー人材センターを活用して敷地内の雑木林の整備を行った。
自然学習への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然に対する興味・関心を高めるため、清里周辺の自然環境や動植物についての展示物を施設内に設け、自然学習を促す取組を行っている。さらに多くの子どもたちが教育的視点で興味・関心を持てるよう、展示内容の充実を図るべきである。

改善すべき点等	
合計 (A+B)	79
総合評価	B

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、会計手続きは適切である。	A	S
	予算管理が適正である	収入の増加と自主事業の支出抑制により、過年度から大幅に収支差額が改善した。	S	
	経費縮減の努力が行われている	一部計画外の支出が見られたが、経費削減努力の結果、支出合計の実績額が予算額を下回った。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	組織再編に伴う吸収合併等、経営合理化に向けた具体的な活動の進捗が見られ、今後営業収益が改善するなど財務力の強化が期待できる。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設から32年が経過して施設設備の劣化が進むなか、修繕や機械設備の保守点検等を適切に実施し、快適な施設づくりに努めている。また、開設前清掃や日常清掃の徹底、食事選択制の導入や地産食材の提供など、良好なサービスが提供されていると評価できる。 ・ 飲料の自動販売機や冷蔵庫の設置、浴用アメニティの提供など、利用者のニーズに合ったサービスを行っている。 ・ 26年度は、シルバー大学の方々向けのツアーを提案し、実施することができたことから、施設利用者の増加に向けた努力を評価できる。 ・ 学校利用における食物アレルギー対応については、一層の取組が求められる。
財務・労務面	<p>財務面について、指定管理者である株式会社ニッコトラストは経営合理化に向けた具体的な活動が進んでおり、さらに成長戦略への転換の意向が示されており、当該計画の着実な遂行により、財務力の改善を達成されたい。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p>
総合評価	<p>財務・労務面についてはともに良好である。サービス面については、よりきめ細かな対応が必要などところがあり、特に安全管理や区との連絡体制は改善を要する。なお、昨年と比較して、自主事業において実施内容が工夫されている。</p>

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	荒川総合スポーツセンター
	所在地	荒川区南千住6-45-5
指定管理者	名称	T M共同事業体
	所在地	代表企業：株式会社東京アスレティッククラブ 中野区中野2-14-6
施設開設年月日		昭和60年6月2日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他スポーツセンターの管理に関し、荒川区が必要と認める業務

平成26年度の事業計画

- ・施設利用者に対する受付や料金徴収業務、スポーツ施設予約システムによる利用者登録手続きや予約代行業務、日常清掃業務や定期清掃業務の適切な実施をする。
- ・温水プールやトレーニングルーム、卓球、バドミントンなどの個人利用の実施や、大小体育室の団体利用対応、スポーツ教室の実施、区主催イベントへの協力等を実施する。
- ・利用者のニーズを把握するためのアンケートを実施し、アンケートの結果を施設運営や教室事業に反映し、展開する。
- ・高付加価値教室（少人数制・コミュニケーションノート付き等）やキッズルームの教室の新設や増設により利用の促進を図る。

平成26年度の事業実績

【26年度】

- ・団体利用者数 239,013人(前年度比 -4,127人)
- ・個人利用者数 149,575人(前年度比 5,923人)
- ・利用料免除者 59,194人(前年度比 1,563人)
- ・教室受講者数 150,024人(前年度比 2,543人)
- ・計 597,806人(前年度比 5,902人)

<教室・講習会>平成26年度

- ①固定会員制教室 (スポーツ教室/16種類・1,088回) (水泳教室/10種類・2,292回)
- ②自由会員制教室 (スポーツ教室/10種類・546回) (水泳教室/2種類・300回)
- ③キッズルーム教室 (13種類・1,088回)
- ④自主事業教室 (26種類・1,420回)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	250,954,808	251,430,823	252,742,498	257,051,353
	決算	245,023,359	259,276,915	278,728,153	
支出	予算	250,954,808	251,430,823	252,742,498	257,051,353
	決算	241,589,528	249,596,978	271,117,242	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	3,433,831	9,679,937	7,610,911	0

（備考）

- ・ 個人利用、教室等事業、キッズルーム利用による利用料収入等の増加により、収支は予算額を大きく上回る黒字である。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	40	—	—	30
建物・設備・備品等が適切に管理されている	10	4	80%	8
利用者が快適に利用できるよう清掃されている	10	4	80%	8
プール施設の衛生管理が適切に実施されている	10	4	80%	8
業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	3	60%	6
区民サービス	60	—	—	48
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	15	4	80%	12
利用者の意見を取入れた事業展開を行っている	15	4	80%	12
利用者の意見や苦情への対応体制が構築されている	10	4	80%	8
事故や災害発生時の適切な対応体制が構築されている	10	4	80%	8
個人情報の保護に対する体制が構築されている	10	4	80%	8
合計（A）	100	-	-	78

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
区民雇用を積極的に行っている	5	5	100%	5
区内業者への発注を積極的に行っている	5	5	100%	5
合 計 (B)	10	-	-	10
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員（非常勤職員含む）のうち、約23%が区民となっており、指導の経験や技能を必要とされる職以外は、積極的に区民を雇用している。 ・ 修繕に関しては、メーカーによる修繕や緊急の修繕を除き、区内事業者が発注している。修繕費の約37%が区内発注となっており、製造元の指定以外は積極的に区内事業者を活用している。 				
改善すべき点等				
<p>今後は、更なる利用者増加とともに、高齢者や障がい者スポーツの推進など、幅広い方々の利用の促進に期待したい。</p>				
合計 (A+B)				88
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、会計手続きは適切である。	A	A
	予算管理が適正である	収入の増加と自主事業の支出抑制により、過年度から大幅に収支差額が改善した。	S	
	経費縮減の努力が行われている	一部計画外の支出が見られたが、安価な業者への発注等経費節減努力も見られた。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、収益性、成長性、安全性、活動性・健全性等、いずれも良好であり、とりわけ三菱電機ビルテクノサービスは優れた財務体質を備えている。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。	A	

総評

サービス面	<p>開設から30年を迎え、施設の老朽化が進行しているが、限られた予算で利用者の安全、利便性を優先した修繕、管理を行っており、適切な施設管理を行っている。</p> <p>運営においては、高付加価値教室の実施（少人数制、コミュニケーションノート付き等）や、教室発表会の実施など、利用者のニーズに応じた事業展開を行い、教室受講者数は、昨年度比2,500人程度増加した。また、個人利用や団体利用も含む総利用者数も、5,900人程度増加しており、利用者増加への努力を評価できる。</p>
財務・労務面	<p>財務面について、施設の会計手続や予算管理について、適切に経費計上されていない科目があったが、改善策が示された。指定管理者であるTM共同事業体は、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好で、かつ収益性が優秀であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。</p>
総合評価	<p>サービス面及び労務・財務面ともに良好であり、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。</p>

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	スポーツ振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住6-36-5
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養100名 ショートステイ10名</p>
平成26年度の事業計画		
<p>1 特養：法人が設定した目標利用率94.0%、ショートステイ：法人が設定した目標利用率120.0%</p> <p>2 特養については、日常の健康管理やインフルエンザ等の感染症予防を徹底することで入院日数の削減を図る。また、ショートステイについては、居宅介護支援事業所のケアマネージャーと連携を図り新規利用者の確保に努める。</p> <p>3 きわめて大きな課題である人材確保と育成については、法人において新たに人事管理部門を独立させる等して採用から定着、育成、異動といった業務を一元的に行う体制作りを推進していくこととする。</p> <p>4 リハビリ機能の強化を図る。また、サービス向上の取り組みとして業務標準化を進め、安定した質の高いサービスの提供に努める。</p> <p>5 施設PRの観点から地域開放イベント「みなこい祭り」を26年度も開催する。また、施設の社会資源を積極的に地域に還元して行けるよう生活相談員が中心となりアウトリーチを行う。</p>		
平成26年度の事業実績		
<p>1 特養：利用率88.4% 平均介護度3.9、ショートステイ：利用率118.1% 平均介護度3.0</p> <p>2 特養は目標利用率を大きく下回る結果となった。入退院を繰り返す利用者も多く、延べ入院者日数は前年度比223日増となり、年間を通して安定した支援に繋がらなかった。</p> <p>3 26年度は常勤介護職の退職者が出たが、法人内において人員配置などの工夫を行った。27年度も採用計画に基づき介護職員の確保に努める。</p> <p>4 特養リハビリについては、機能訓練指導員を中心とした多職種協働による援助が徐々に実践できるようになってきた。特に、ケアワーカーのリハビリに対する考え方や知識の向上が見られ、利用者へのリハビリ効果にも繋がっている。</p> <p>5 11月に「みなこいフェスティバル」と銘打ち、同法人の西日暮里、町屋、南千住中部の各センター及び東西の日暮里地域包括支援センターにも協力を呼び掛け開催した。多くの来場者があり成功裏に終えることができた。</p>		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	463,401,000	460,554,000	464,610,000	453,136,000
	決算	448,071,512	448,184,057	440,785,166	
支出	予算	457,441,000	457,594,000	459,150,000	444,972,000
	決算	442,081,960	448,852,043	442,823,643	
収支	予算	5,960,000	2,960,000	5,460,000	8,164,000
	決算	5,989,552	-667,986	-2,038,477	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点評価項目

項目	評価		
	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自主的な取り組み	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、88.4%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートについては、実施されていない。
- ・自主的な取り組みについては、11月に同法人の西日暮里、町屋、南千住中部の各センター及び東西の日暮里地域包括支援センターと協力して「みなこいフェスティバル」を開催し、多くの来場者があったこと、地元中学生のインターンシップ、企業の新入社員研修など職場体験等の受け入れに幅広く協力を行っていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

- ・利用率について、退所者が出た場合において、速やかに入所決定を行うなど努力可能な範囲の中で、利用率の改善が必要である。
- ・利用者アンケートについて、失念していたため未実施であったことから、直ちに実施するとともに、27年度は確実に実施をすることを求める。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	A	A
	予算管理が適正である	2年連続で事業活動収支差額は赤字ではあるものの、その赤字額は若干程度であり、予算管理が適正に行われている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	A	
労務	労働環境が適正である	労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・特養としてのスキルをもって、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスの提供を安定的に実施している。 ・年々利用者のニーズが高まっている、看取りについても積極的に行っており、看取り希望者の増加や利用者の重度化に今後もきちんと対応するため職員のスキルアップや体制整備などの取り組みが行われている。 ・ショートステイについて、認知症対応フロアにおける男性の利用ニーズが高いことに対応するため、柔軟に居室調整を行い利用できるように取り組まれている。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っているが、2年連続で事業活動収支差額が、ごくわずかな赤字であるため、利用率の向上が望まれる。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。利用率の改善が必要であり、また利用者アンケートについては、直ちに実施すべきであるが、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住3-14-7
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里2-29-8
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 特養56名 ショートステイ12名</p>

平成26年度の事業計画

- 1 特養：法人が設定した目標利用率95.0%、ショートステイ：法人が設定した目標利用率105.0%
- 2 特養に入所することにより、在宅での生活が困難な地域高齢者の方々が、充実した介護サービスの提供を受けられることを目的として、年間利用率の目標を95%とした。
- 3 地域ボランティアに参加を促進し、入所者の多様な趣向の娯楽をカバーすることで、個々の利用者が楽しめる空間を創造する。
- 4 地域に根ざした特養として、地域住民との協同による防災訓練などを通じ、地域との交流を深める。
- 5 利用者等の多様化するニーズに対応できるよう、各種の職員研修を実施して職員の資質向上に努める。

平成26年度の事業実績

- 1 特養：利用率94.8% 平均介護度4.0、ショートステイ：利用率94.4% 平均介護度2.7
- 2 目標には僅かに届かなかったものの、特養の年間利用率は94.8%で概ね達成できた。
- 3 積極的に地域ボランティアの受け入れを行った結果、多様な娯楽の提供が図られ入所者の「楽しみ・生き甲斐づくり」に成果があり、充実した利用者サービスが実施できた。
- 4 夏祭り行事の参加や地域住民の参加による防災訓練などを実施し、地域との関わりを通して、交流を深めることができた。
- 5 職員研修計画を策定して、計画的に研修を実施したことで、幅広い知識の修得に成果があり、職員の資質向上が図られた。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	284,580,000	294,997,000	306,940,200	293,279,000
	決算	285,629,751	297,413,661	288,867,387	
支出	予算	264,565,000	286,885,000	302,987,000	288,980,200
	決算	285,980,038	296,281,498	277,216,910	
収支	予算	20,015,000	8,112,000	3,953,200	4,298,800
	決算	-350,287	1,132,163	11,650,477	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、94.8%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が93%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、近隣保育園等と交流を深めるなど、地域に開かれた施設を目指し、近隣地域との連携を積極的に深めていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	A	A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し極めて良好である。	S	
労務	労働環境が適正である	労働契約書、給与明細一覧表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・特養としてのスキルをもって、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスの提供を安定的に実施している。 ・身体機能の低下により、重度化した利用者の入所が増えている中、利用者の身体状況に応じた介護サービスが提供できるよう、研修等を通して職員の介護技術の向上が図られている。 ・利用者の機能訓練の実施にあたっては、常勤専従の機能訓練指導員を配置し、各職種が共同して目標や計画を作成するなど、機能訓練の充実が図られている。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
	所在地	荒川区荒川5-47-2
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養50名 ショートステイ6名</p>

平成26年度の事業計画

- 1 特養：法人が設定した目標利用率98.0%、ショートステイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 家族との緊密な連携を図り、利用者一人一人が培ってきた生活歴を尊重するとともに、個々のニーズに即した生活が送れるよう各分野の職員が専門的な立場から連携し、質の高いサービス提供を行う。
- 3 歯科医師や管理栄養士との連携により、嚥下機能の検査や口腔内のケアに力を入れるとともに、適した食事を提供することで、経口摂取の維持や誤嚥性肺炎を予防する。
- 4 地域により開かれた施設として、地域住民や近隣町会との連携や相互協力を高めるとともに、専門性を生かした事業展開で地域に還元していく。
- 5 ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症を予防し、利用者の体調管理を徹底することで施設内での感染症の発生や蔓延を防ぐ。

平成26年度の事業実績

- 1 特養：利用率98.0% 平均介護度4.1、ショートステイ：利用率79.0% 平均介護度3.3
- 2 介護支援専門員を中心に本人・家族のニーズを把握し、各職種がそれに基づいたケアプランを立案・実施した。家族にケアプラン会議への参加を積極的に呼び掛けるとともに、参加できない場合には書面で事前に意見をもらい参加意識を高めることができた。
- 3 嚥下機能の低下が見られる利用者については、嚥下内視鏡検査により実際の嚥下機能を画像で確認することで適した食形態への見直しを行うとともに、歯科医師の指導による口腔内の衛生保持を行うことで食事時のむせ込み防止、経口摂取の継続や肺炎予防に繋がった。
- 4 近隣の9町会から構成されている「やまぶき会」を通じ、地域の引きこもりがちな高齢者に対して行っているいきいきサロンを充実させた。また、会合や行事を地域が一体となって開催し地域の福祉拠点としての役割を果たした。
- 5 職員の予防接種や手指消毒の徹底や家族への呼び掛け、日常の余暇活動におけるフローア移動に注意を払うことにより、25年度に引き続きひとりの感染症も発生させなかった。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	249,701,000	255,220,000	261,018,000	257,775,000
	決算	252,340,916	253,023,838	246,939,537	
支出	予算	248,113,000	250,560,000	250,695,000	249,945,000
	決算	239,575,467	257,969,319	240,181,830	
収支	予算	1,588,000	4,660,000	10,323,000	7,830,000
	決算	12,765,449	-4,945,481	6,757,707	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、98.0%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が83%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、近隣の9町会から構成されている「やまぶき会」が、26年度は東京都から表彰を受けるなど、開かれた施設として地域との共存や連帯感を深める活動に尽力されていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続がなされている。	A	A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し極めて良好である。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用通知書、勤怠支給控除一覧表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・特養としてのスキルをもって、入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスの提供を安定的に実施している。 ・年々利用者のニーズが高まっている、看取りについても積極的に行っており、看取り希望者の増加や利用者の重度化に今後もきちんと対応するため職員のスキルアップや体制整備などの取り組みが行われている。 ・感染症予防への取り組みによりノロウイルスやインフルエンザの発生を予防を図っている。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住6-36-5
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>(定員) 通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成26年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 居宅介護支援事業所のケアマネージャーと連携を図り新規利用者の確保に努める。
- 3 きわめて大きな課題である人材確保と育成については、法人において新たに人事管理部門を独立させる等して採用から定着、育成、異動といった業務を一元的に行う体制作りを推進していくこととする。
- 4 リハビリ機能の強化を図る。また、サービス向上の取り組みとして業務標準化を進め、安定した質の高いサービスの提供に努める。
- 5 施設PRの観点から地域開放イベント「みなこい祭り」を26年度も開催する。また、施設の社会資源を積極的に地域に向け還元していけるよう生活相談員が中心となりアウトリーチを行う。

平成26年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率80.4% 平均介護度2.1
- 2 26年度の利用率は80.4%であった。新規利用者数、実利用者数がともに減となり目標には及ばなかった。
- 3 26年度は常勤介護職の退職者が出たが、法人内において人員配置などの工夫を行った。27年度も採用計画に基づき介護職員の確保に努める。
- 4 7月に機能訓練指導員として鍼灸師が入職し、従前の訓練内容に加えパルス療法を新たに取り入れた。また、サービスマナーや食事、入浴、送迎にかかる事業計画を常勤と非常勤が協同で考えPDCAサイクルに基づくサービス向上の取り組みを定着させるとともに、自立支援につながる業務改善を適宜行なうことができた。
- 5 11月に「みなこいフェスティバル」と銘打ち、同法人の西日暮里、町屋、南千住中部の各センター及び東西の日暮里地域包括支援センターにも協力を呼び掛け開催した。多くの来場者があり成功裏に終えることができた。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	94,050,000	95,072,000	96,735,000	98,291,000
	決算	94,308,647	91,033,478	94,467,887	
支出	予算	98,810,000	90,632,000	92,081,000	94,299,000
	決算	96,712,791	88,279,122	92,491,777	
収支	予算	-4,760,000	4,440,000	4,654,000	3,992,000
	決算	-2,404,144	2,754,356	1,976,110	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点評価項目

項目	評価		
	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、80.4%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が94%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、11月に同法人の各施設等と協力して「みなこいフェスティバル」を開催し、多くの来場者があったこと、地元中学生のインターンシップ等職場体験の受け入れに幅広く協力を行ったこと、月～土曜に地域の方に昼食を提供する来食サービス、地域高齢者・お元気ランチ卒業者など自ら来所できる高齢者を中心に自主事業として体操教室・食事を提供するみなこいランチを実施していることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	A	A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	A	
労務	労働環境が適正である	労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスの提供を安定的に実施している。 ・ 食事は事前面接時にアセスメントを行い、形態、嗜好品の対応を行っており、また、誤嚥に対する注意として、食事前の嚥下体操の必要性を説明した上で、食事をする取り組みが行われている。 ・ 浴室脱衣所の手すりの見直しや椅子などの配置の検討を行ったことによりスムーズな入浴援助が可能となり、入浴者数の増加につなげ、多くのニーズに応えるように取り組んでいることは評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っている。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住3-14-7
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里2-29-8
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 ＊各々介護予防含む</p>

平成26年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 年間の利用率については25年度の実績を踏まえて、設定した目標を達成するように運営を推進する。
- 3 機能訓練指導員を採用することにより、加齢による生活機能の低下を抑え、生活機能の維持向上を図る機能訓練の充実に努める。
- 4 利用者の健康管理を強化することによって、感染症を予防するとともに利用者の健康状態に応じた、適正なサービスを提供する。
- 5 安全、安心でかつ、楽しんでいただける入浴サービスを実施する。

平成26年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率80.7% 平均介護度2.1、認知デイ：利用率18.4% 平均介護度3.7
- 2 上半期の利用率が低調であったことから、年間利用率は80.7%に留まり、目標を達成することができなかった。
- 3 専従の機能訓練指導員を新たに採用したことで、個々の課題の抽出を行い機能訓練計画書を策定し、生活機能を維持する体制が確立された。
- 4 連絡ノートを活用して利用者の健康状態を家族へお知らせするとともに、感染症が流行する時期は、「うがい・手洗い」の徹底により感染症の発生を防いだ。
- 5 清潔を保持するため週2回以上の入浴実施に努めながら、四季が感じ取れる「菖蒲湯、りんご湯」などにより満足感が味わえる入浴サービスを実施した。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	97,719,000	98,045,000	98,564,000	91,240,000
	決算	98,886,991	106,839,208	92,290,238	
支出	予算	89,525,000	88,003,000	92,264,000	81,725,000
	決算	99,167,844	85,950,937	89,165,163	
収支	予算	8,194,000	10,042,000	6,300,000	9,515,000
	決算	-280,853	20,888,271	3,125,075	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点点評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、80.7%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が90%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、地域に開かれた施設として、行事等のイベントにおいて地域ボランティアを活用して地域との繋がりを深めながら交流を図り、地域との連携を密にしていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続がなされている。	A	A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し極めて良好である。	S	
労務	労働環境が適正である	労働契約書、給与明細一覧表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスの提供を安定的に実施している。 ・ 専従の機能訓練指導員を新たに採用して、個別機能訓練の一層の充実が図られている。 ・ 居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携によって、利用者が希望する在宅介護サービスを切れ目なく適切に提供できる体制が図られている。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川5-47-2
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成26年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率75.0%
- 2 在宅生活を継続できるよう家族や介護支援専門員との連携を図り、より効果的なサービスを提供できるよう、個々の利用計画を立案し計画に沿ったサービスを実施していく。
- 3 利用者が継続的に利用してもらえるよう、四季折々の行事や多彩な手工芸等のプログラムを企画するとともに、体操等を通じて楽しみながら機能訓練・機能維持ができるよう努める。
- 4 地域に対してより開かれた施設として連携と相互協力を高めるとともに、専門性を生かした事業展開で地域に還元していく。
- 5 地域で元気に過ごすことができるよう対象者の運動機能低下を予防、改善し、合わせて低栄養や閉じこもりなどを予防するための二次予防対象者向け会食サービス「お元気ランチ」を実施する。

平成26年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率70.3% 平均介護度2.5
- 2 居宅サービス計画に沿った通所介護計画書を作成し、担当者会議でその成果の確認及び修正を行っており、個々の利用者に適したサービスを提供することで、在宅生活の継続に繋がった。
- 3 納涼祭や敬老会といった定番の行事に加え、ボランティアによる吹奏楽の演奏や保育園児との交流等を多く取り入れ好評を得た。手工芸も季節感を重視した内容で実施した。
- 4 近隣の9町会から構成されている「やまぶき会」を通じ、地域の引きこもりがちな高齢者に対して行っているいきいきサロンを充実させた。また、会合や行事を地域が一体となって開催し地域の福祉拠点としての役割を果たした。
- 5 「お元気ランチ」については、地域包括支援センターと連携し、週1回開催した。看護師や運動の専門職による指導により身体機能・精神機能の維持・向上に成果が出ている。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	103,879,000	87,362,000	78,361,000	77,351,000
	決算	73,889,368	68,314,030	76,017,581	
支出	予算	101,507,000	86,762,000	75,394,000	70,798,000
	決算	91,541,745	70,386,393	74,648,478	
収支	予算	2,372,000	600,000	2,967,000	6,553,000
	決算	-17,652,377	-2,072,363	1,369,103	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、70.3%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が86%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、近隣の9町会から構成されている「やまぶき会」が、26年度は東京都から表彰を受けるなど、開かれた施設として地域との共存や連帯感を深める活動に尽力されていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

- ・利用率について、25年度と比較して改善しているところではあるが、さらなる利用率の改善が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続がなされている。	A	A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し極めて良好である。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用通知書、勤怠支給控除一覧表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスの提供を安定的に実施している。 ・ 要支援の利用者に対する運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上サービスを充実させるなど、要支援状態の維持、改善に積極的に取り組まれている。 ・ 認知症症状の重度な利用者、要介護4・5の利用者、医療的なケアが必要な利用者等の受け入れも積極的に行い、施設の設備や職員の経験を活かしたサービス提供に努め、家族介護の負担軽減の一助となる支援を図られている。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。利用率の改善が必要であるが、サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西日暮里5-36-1
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成3年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成3年2月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>

平成26年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 1階食堂で時間帯を分けていた昼食を2階フロアにおいても昼食を取れるように整備を行う。
- 3 センター到着時のバイタルチェック終了後、一人ずつ今日のプログラムを選択をする選択制プログラムを導入する。
- 4 入浴後にシャツを着る、食事の時に自助具を使い少しずつ食べる等、1日の目標を設定し自分でできることを増やすための「来所した時からの個別機能訓練」を行う。
- 5 11～12月にかけてエレベーター改修工事が行なわれるため、区立特養のホールに場所を移しサービス提供を行なうとともに、利用者にストレスを与えない工夫、送迎の見直しや職員の配置検討を行なう。

平成26年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率82.1% 平均介護度2.3
- 2 1階食堂と2階フロアで同一時間帯に利用者全員が昼食を取ることができるよう整備を行った。また、2階フロアで昼食を取る利用者は、職員と協力して一緒に食事の準備や後片付けができるようになるなどの効果があった。
- 3 選択制プログラムの導入後、できることは利用者自ら行う傾向がみられ、自立支援の一步に繋げることができた。
- 4 来所してから、「ロッカーにバックを入れる、ノート袋を出す、名札をとる」という3つのことを、ほぼ全員の利用者が1年かけて行なえるようになった。また、入浴においても昇降機を使っていた利用者が1年をかけて階段リハビリを行うことで浴槽の階段を使えるようになるなどの効果があった。
- 5 エレベーター改修工事に伴い、工事期間中は区立特養のホールでサービス提供を行った。また、職員が協力し、利用者に事故がないように配慮した。

施設決算状況					
年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	102,662,000	101,837,000	106,784,000	112,292,000
	決算	96,115,506	102,654,637	111,681,038	
支出	予算	101,797,000	100,123,000	101,694,000	107,421,000
	決算	105,149,978	99,294,344	107,234,613	
収支	予算	865,000	1,714,000	5,090,000	4,871,000
	決算	-9,034,472	3,360,293	4,446,425	
（備考）					
法令基準等への適合状況					
確認項目					適合判断
運営基準を満たしているか					
	運営規定を定めており、適切に守られている				○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている				○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている				○
人員配置基準を満たしているか					
	管理者を配置している				○
	看護職員、介護職員等を配置している				○
設備基準を満たしているか					
	サービス提供に必要な設備を備えている				○
結果					適合

加点点評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用率については、82.1%と良好である。
- ・ 利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が93%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・ 自主的な取り組みについては、お元気ランチ卒業生に対する歌体操や施設公開等に多くのボランティアの協力を得ている。また、保育園の園児とは月に1回交流会を行うとともに、中学生職業体験実習や小学生の研修を受け入れていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

--

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	A	A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	A	
労務	労働環境が適正である	労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを安定的に実施している。 ・ 常勤の機能訓練指導員を配置することで、個別機能訓練の充実、頭の体操、運動器の機能向上に取り組まれている。 ・ 11～12月に実施されたエレベーター改修工事時には、区立特養のホールでサービス提供を行うとともに、職員が協力するなどし利用者に事故がないよう配慮が図られた。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っている。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区町屋7-2-15
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成5年3月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成5年3月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 *介護予防含む</p>
平成26年度の事業計画		
<p>1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%</p> <p>2 26年度は、サービスの見直しや他の居宅介護支援事業所及び地域の方へPRを行い、年間利用率85%を目指す。</p> <p>3 26年度から、サービス内容を充実させるため、サービス提供時間を基本的に「5～7時間」から「7～9時間」に変更する。また、サービス内容の見直し（機能訓練や趣味活動の充実）を行い、利用者に満足していただけるようなサービスの提供に努める。</p> <p>4 26年度から5年間、改めて「荒川区指定管理者」に選定されたので、5か年計画書に沿って、利用者への自立支援の取り組みについては、実現可能なところから実施していく。</p> <p>5 センター開所22年目を迎え、センター内で経年劣化している箇所がみられるようになったため、法人内管理課や荒川区担当と連携を密にとりながら修繕及び備品の買い替えを実施する。</p>		
平成26年度の事業実績		
<p>1 一般デイ：利用率80.7% 平均介護度2.3</p> <p>2 年間平均利用率は80.7% 1日平均利用者数は32.3人 平均介護度は2.3であった。「ホームページ」「お便り」等を活用し、居宅介護支援事業所と連携を強化しながら、利用率向上に努めた。目標は達成できなかったが、年間利用率は25年度より2.3%アップした。</p> <p>3 26年度からサービス提供時間を「5～7時間」から「7～9時間」に変更した。時間が延長されたことにより、機能訓練や趣味活動の充実が図られ、利用者にも喜ばれ好評を得た。また、「7～9時間」に変更したことにより、収入増にも繋がった。</p> <p>4 指定管理者の5か年計画書に沿って、利用者の自立支援に向けた取り組みとして、センター内での「靴の履き替え」や「上着の着脱」等、できる限り利用者自身で行った。</p> <p>5 開所当初から使用し、経年劣化してきた事務所内の机、椅子、ロッカー等の備品を買い替えた。</p>		

施設決算状況					
年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	108,876,000	107,995,000	114,205,000	114,277,000
	決算	100,044,979	97,339,051	113,004,235	
支出	予算	105,936,000	104,789,000	110,117,000	111,198,000
	決算	98,211,541	108,139,079	106,697,444	
収支	予算	2,940,000	3,206,000	4,088,000	3,079,000
	決算	1,833,438	-10,800,028	6,306,791	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点評価項目

項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、80.7%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が88%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、保育園や母子生活支援施設との交流会を行うとともに、勤労留学生、教員免許法の特例による社会福祉施設介護等体験学生を受け入れていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収 支 状 況 ・ 縮 減 努 力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続がなされている。	A	A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	A	
労務	労働環境が適正である	労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを安定的に実施している。 ・ 入浴については、利用者のニーズが非常に高く、できるだけ多くの利用者を受け入れ喜ばれており、利用者の身体状況や疾病に留意しながら実施されている。 ・ サービス提供時間を「5～7時間」から「7～9時間」に変更したことで、機能訓練や趣味活動の時間が長くなり、利用者から好評を得ていることは評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減の努力を行っている。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住4-9-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成12年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）30名 *介護予防含む</p>

平成26年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 安定した経営を重点目標として、サービス内容の見直しやサービス提供時間の変更を検討していく。また、業務改善や経費削減にも努め、居宅介護支援事業所や地域の方へのPRを強化して年間利用率85%を目指す。
- 3 利用者の個別ニーズにあったサービスの提供に努め、職員間の連携を密にして利用者一人ひとりが安心して楽しく利用できるセンターを目指す。
- 4 利用者の希望を取り入れながら職員がプログラムを企画立案し、活動予定に沿って実施をする。また、年間の行事も今まで行っていなかった新しいものを取り入れていく。
- 5 重度化予防と身体機能維持向上を目指した個別機能訓練及び日常生活動作訓練を行い、利用者が末永く住みなれた地域で生活できるよう支援していく。

平成26年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率86.4% 平均介護度2.1
- 2 PR効果もあり、新規申し込みが増えたことで、年間利用率は86.4%と目標を達成することができた。経費削減についても無駄をなくすよう職員一丸で取り組んだ。
- 3 職員間で利用者一人ひとりの日常生活動作や手段的日常生活動作をしっかりと共有することで、きめ細かいサービスを提供することができた。
- 4 新しいプログラムや行事を取り入れたことで、利用者には大変好評であった。27年度も喜んでいただけるプログラムを行っていきたい。
- 5 個別機能訓練と全体で行うリハビリ体操を理学療法士の指導のもと実施した。利用者の身体機能の低下防止と維持向上に繋がり、利用者からは大変喜ばれた。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	76,089,000	73,538,000	75,815,000	69,385,000
	決算	67,268,423	64,845,544	73,670,681	
支出	予算	74,922,000	72,158,000	78,032,000	70,704,000
	決算	70,454,983	72,500,542	78,144,820	
収支	予算	1,167,000	1,380,000	-2,217,000	-1,319,000
	決算	-3,186,560	-7,654,998	-4,474,139	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、86.4%と極めて良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が85%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、毎週水曜日にお元気ランチ卒業生の自主グループへ施設の開放をしている。また、近隣に新しくできた保育園の園児たちとは、月に1回交流を行うとともに、地域社会体験学習、勤労留学、教員免許取得介護等体験、福祉専門学校の受け入れを行っていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続がなされている。	A	B
	予算管理が適正である	3年連続で事業活動収支差額が赤字ではあるものの、26年度の赤字額は軽微であり、改善される見込みがある。	B	
	経費縮減の努力が行われている	消耗品等の削減など経費縮減の努力が行われており、改善される見込みがある。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	A	
労務	労働環境が適正である	労働契約書、部門別給与支給・控除集計表、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを安定的に実施している。 ・ 居宅支援事業所への訪問活動や臨時利用ができることを利用者や家族にお知らせを行うなど積極的に取り組まれている。 ・ 常勤の機能訓練指導員の配置を行い、セラバンド・棒・ボール等を使用しながらのリハビリ体操、音楽に合わせた体操等の楽しくできる機能訓練の充実が図られている。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続は適正である。3年連続で事業活動収支差額が軽微ではあるものの、赤字であるため、利用率の維持及び効率的な運営が必要である。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。財務面においては、利用率が高くなったにも関わらず、収支状況が赤字であり、一定の改善が必要であるが、利用者に対する福祉サービスの提供や労務管理については適切に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区東日暮里3-8-16
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子2-19-21
施設開設年月日		平成6年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年11月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）40名 認知症対応型通所介護（認知デイ）12名 ＊各々介護予防含む</p>

平成26年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率80.0%
- 2 25年度は利用者のショートステイへの変更利用や入院等が増加したことにより、利用率が低い結果となったことから、26年度は、サービス内容の質を高めることで、利用率目標を80%以上とする。
- 3 介護予防の拠点として重要な役割を担うことから、「運動器の機能向上」「口腔機能向上」「栄養改善」等のサービスを継続して実施する。
- 4 引きこもりの防止、低栄養の予防を目的に、特定高齢者を対象とした「お元気ランチ」事業を地域包括支援センターと連携を図り継続して実施する。
- 5 荒川区の介護予防事業のひとつである「いきいきボランティア」事業を継続して実施するとともに、ボランティア活動を通じて介護予防を促進することで、元気高齢者の増加に寄与する。

平成26年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率64.2% 平均介護度2.4、認知デイ：利用率29.6% 平均介護度3.9
- 2 利用率向上のため、荒川区ホームページの介護事業者情報提供システムや関係事業所へ空き情報を提供したり、通院等で欠席予定とされていた利用者に対し個別の送迎を行ったりしたが、目標達成には至らなかった。
- 3 筋力トレーニング、運動器の機能向上を目的とした「セラバン体操」「ころばん体操」「ばん座位体操」「ちえあばん体操」等、安心して行なえる体操を実施するとともに、誤嚥防止等を目的とした「嚥下体操」と口腔ケアの取り組みを実施した。
- 4 毎週木曜日、年間48回の「お元気ランチ」事業を実施し、その事業内容や食事について参加者から好評を得た。
- 5 声楽家による音楽鑑賞会、マンドリンとギターの演奏会、毎月の歌声ミニコンサート、書道、朗読劇、バンド演奏など、ボランティアによるイベントを開催し、ボランティア、利用者ともども、楽しく介護予防が図れた。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	145,692,000	143,413,000	124,666,000	127,172,000
	決算	121,212,754	108,739,088	99,665,513	
支出	予算	135,787,000	135,774,000	122,500,000	114,801,000
	決算	126,227,750	119,760,843	107,928,941	
収支	予算	9,905,000	7,639,000	2,166,000	12,371,000
	決算	-5,014,996	-11,021,755	-8,263,428	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、64.2%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が91%に達するなど、極めて良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、センター内にある他の事業所や地域のふれあい館などと連携した「施設公開・センター祭り」を開催したり、保育園との交流、区立中学生の職業体験実習の受け入れや教員免許取得のための実習性の受け入れを行っていることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

- ・利用率について、64.2%であったことから、利用率の改善が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	A	B
	予算管理が適正である	3年連続で事業活動収支差額が赤字ではあるものの、26年度の赤字額は軽微であり、改善される見込みがある。	B	
	経費縮減の努力が行われている	25年度より経費縮減の努力が行われており、改善される見込みがある。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等は、事業所の三期の決算書に基づき総合的に判断し良好である。	A	
労務	労働環境が適正である	雇入通知書、正規職員・非常勤職員給与台帳、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを安定的に実施している。 ・ 食事サービスでは、利用者の身体状況や嗜好に配慮し季節感のあるメニューや行事用の食事提供を行い、バイキング方式を取り入れるなど飽きのこない工夫とともに、手作りおやつなど魅力ある食の提供が行われている。 ・ 家族や地域との交流では、連絡帳や日頃の会話等を通し、家族との密接な連携を図り信頼関係の確立に努めるとともに、介護者教室の実施や行事等を通し、家族や地域との連携を深めるなど積極的な交流が行われている。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続は適正である。3年連続で事業活動収支差額が軽微ではあるものの、赤字であるため、利用率の向上及び効率的な運営が必要である。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。財務面においては、利用率の大幅な改善などの対応が求められるが、利用者に対する福祉サービスの提供や労務管理については適切に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川1-34-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成6年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年12月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 ＊各々介護予防含む</p>

平成26年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率85.0%
- 2 画一的なプログラム提供ではなく、多彩な活動内容を用意し、自らが選んで参加できるようなプログラム活動の提供を行う。
- 3 地域に根差した施設として、介護予防自主事業を実施する。
- 4 当施設が開設20周年を迎えることから、20周年行事として、利用者やその家族・関係機関や地域の方々とともに祝うための事業を展開する。
- 5 東日本大震災以降、震災などに備えて、避難物資の確保や避難訓練の実施が課題となってきたことから、地域の方々の協力を経て避難訓練を実施する。

平成26年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率76.4% 平均介護度2.1、認知デイ：利用率34.6% 平均介護度4.0
- 2 26年8月より、活動プログラムの充実と認知症予防を目的に回想式やレク型、訓練型、学習型等の活動を通して行う多彩なプログラムである、らくしゅう式「脳機能訓練」を導入した。また、らくしゅう式「脳機能訓練」の導入に伴い職員研修を実施するとともに、居宅介護支援事業所への説明会やチラシ配布によりPRを実施した。
- 3 介護予防事業の一環として、お元気ランチ利用後の活動として健康茶話会「ころから」事業を週に1度実施した。また、介護予防型「活・粋サロン」については、家族介護者の会「銀の杖」に対して月に1度、活動場所の提供を行った。
- 4 26年12月1日に開設記念事業を実施した。地域のボランティアによる三味線や踊りの披露、南千住地域の民生委員協議会による施設見学、居宅介護支援事業所や家族を招いてのおやつバイキングなどを実施した。
- 5 当施設は、複数町会とのほざまにあるが、町会との関係性がこれまでは薄く、町会の協力のもと避難訓練を実施したことはなかったが、26年度に初めて町会の協力を得て、震度5強の震災を想定した、福祉避難所を開設するまでの訓練を実施した。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	115,895,000	112,302,000	114,479,000	109,978,000
	決算	105,114,753	102,096,542	103,572,749	
支出	予算	115,895,000	112,302,000	114,479,000	109,978,000
	決算	94,682,883	93,546,166	94,239,606	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	10,431,870	8,550,376	9,333,143	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点点評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、76.4%と良好である。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が87%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、お元気ランチ卒業生の受け皿として、健康茶話会「ころから」を開催している。また、保育園の園児とは、センター祭りや卒園児交流会を実施、さらに、サマーボランティア、勤労留学生、介護等体験学生、銀行の新人研修の受け入れを実施していることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	A	A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性、健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用通知書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを安定的に実施している。 ・らくしゅう式「脳機能訓練」の導入により、活動プログラムの充実が図られている。また、居宅介護支援事業所への説明会を開催するなど、積極的な営業活動が実施されている。 ・26年度より祝日開館を実施し、臨時利用やサービス提供時間の変更等、利用者や家族の要望に丁寧に対応している。祝日利用については、年度当初こそ利用者数は少なかったが、年度末には平日同様の利用者数となったことは評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西尾久6-17-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成7年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所介護（一般デイ）35名 認知症対応型通所介護（認知デイ）10名 ＊各々介護予防含む</p>

平成26年度の事業計画

- 1 一般デイ：法人が設定した目標利用率76.0%
- 2 認知症の予防・症状の進行防止を働きかけ、改善を図る。
- 3 26年4月より、利用者、家族、介護支援専門員から要望のあった祝日開館を実施する。
- 4 外食や買い物等を目的とした外出プログラム、園芸活動で収穫した野菜を使い調理活動をする等の満足度の高いプログラムを充実させる。
- 5 蛍光灯安定器の劣化による「ちらつき」等の不具合に対応するため、設備の調査を実施するとともに、劣化による不具合のある安定器を交換することで、施設での生活環境の向上を図る。

平成26年度の事業実績

- 1 一般デイ：利用率67.8% 平均介護度2.3、認知デイ：利用率20.7% 平均介護度3.6
- 2 個別プログラムの実施については、読み書き、計算、塗り絵、パズル等多数の教材から自分に合ったものを選択できることから、大多数の利用者が取り組める訓練となっている。また、集団での実施が可能なレク型プログラムも充実しているため、多くの利用者が脳機能訓練に取り組むことができた。
- 3 26年4月より祝日開館を実施した。利用者、家族からは祝日開館について、好評を得ることができた。
- 4 外出プログラムについては、当初は、一人につき年1回という計画で開始したが、好評だったため、当初予定を変更し年2回の実施にした。また、行き先や目的を3通り（食事と買い物、食事のみ、近隣散策）の選択性にすることで、参加しやすいとの評価を得た。園芸活動では、種まきから始め、水やりをしながら植物の成長を楽しみ、収穫した野菜は厨房で調理して食べることができた。
- 5 日常動作訓練室12箇所と配膳室1箇所の安定器を交換した。未実施の蛍光灯については、LED蛍光灯への交換も含めて再度検討することとした。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	113,649,000	113,649,000	97,380,000	95,494,000
	決算	96,997,702	85,103,104	86,127,332	
支出	予算	113,649,000	113,649,000	97,380,000	95,494,000
	決算	92,194,269	89,649,070	93,207,920	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	4,803,433	-4,545,966	-7,080,588	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した文書を交付して説明を行い、利用者等の同意を得ている	○
	食中毒及び感染症を防止する処置等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している	○
	看護職員、介護職員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用率		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・利用率については、67.8%であり、十分な利用率とは言えなかった。
- ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が89%に達するなど、良好な評価を得ている。
- ・自主的な取り組みについては、お元気ランチ卒業生の受け皿として、健康茶話会「ころから」を開催している。また、保育園の園児とは、センター祭りや卒園児交流会を実施、さらに、サマーボランティア、勤労留学生、介護等体験学生、銀行の新人研修の受け入れを実施していることは評価できる。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

- ・利用率について、67.8%であったことから、利用率の改善が必要である。

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続がなされている。	A	B
	予算管理が適正である	2年連続で事業活動収支差額が赤字であるが、その赤字額は改善される見込みがある。	B	
	経費縮減の努力が行われている	消耗品等の削減など経費縮減の努力が行われている。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性、健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用通知書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスセンターとしてのスキルをもって、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを安定的に実施している。 ・ らくしゅう式「脳機能訓練」の導入により、活動プログラムの充実を図られている。また、居宅介護支援事業者への説明会を開催するなど、積極的な営業活動が実施されている。 ・ 26年度より祝日開館を実施し、臨時利用やサービス提供時間の変更等、利用者や家族の要望に丁寧に対応されている。また、祝日利用については、年度当初こそ利用者数は少なかったが、年度末には平日同様の利用者数となったことは評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務面について、施設の会計手続は適正である。また、2年連続で事業活動収支差額が軽微ではあるものの、赤字であるため、利用率の向上及び効率的な運営が必要である。 ・ 法人決算について、指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・ 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。財務面においては、利用率の大幅な改善などの対応が求められるが、利用者に対する福祉サービスの提供や労務管理については適切に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川老人福祉センター
	所在地	荒川区荒川 1-34-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住 1-13-20
施設開設年月日		昭和45年12月1日開設
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		(1) 事業に関する業務 ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 (2) 本施設の維持管理に関する業務 ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理に関する業務 ・その他の維持管理に関する業務
平成26年度の事業計画		
1 職員による館内巡回など、利用者との日頃の関わりの中から、当センター利用対象者の日常生活動作や健康状態、福祉サービスの利用状況等を把握し、必要な支援を行うとともに、関係機関と連携を図りながら見守りネットワークを強化する。また、地域包括支援センター等との連携の強化も図っていく。 2 「プレ介護者講座」等を開催し介護予防、介護保険、介護用具などの紹介や参加者の意識啓発を図る。また、「元気わくわくフェア」や相談会等を開催し機能訓練事業の充実を図る。さらに新規講座として、「みんなで歌おうポップス」「ふれあいタイム」、各種体操、季節の催しの開催や「誰でもいつでも脳トレ」などを充実させ、心身ともに健康を保持・増進し介護予防の促進を図る。 3 各種教室のリニューアルを行い、公開講座の見直しや新規講座を企画する。また、人気の高い講座は継続実施し、参加を呼び掛けていく。		
平成26年度の事業実績		
1 利用者の要介護認定の有無や日常動作の確認、特定疾病の罹患や日常動作に不安のある方には嘱託医による健康審査を行い、利用者の身体状況の把握に努めた。また、健康保持や予防に関して、健康相談員や看護師による情報提供や助言指導の機会を設けるなど、個別のニーズに応じた介護予防事業への参加に繋げるとともに、必要に応じて地域包括支援センター等と連携して対応にあたった。 2 介護予防促進のため「プレ介護者講座」を実施した。また、生活情報として健康や生活に関する意識啓発や注意喚起を図ったことで、多くの利用者が「耳より情報」講座に参加した。いこい室・娯楽室でのプログラムをはじめ、老人・与作体操、いきいき体操、ころばん・せらばん体操や脳トレ問題等も実施した。 3 利用者アンケートの結果を反映し、講座のリニューアルを実施するとともに、新企画の公開講座「初めてのタブレット講座」「季節の折り紙講習会」を開催した。また、各種教室等参加者に大会への参加を呼び掛けるなど、交流の機会をつくった。		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	62,320,000	63,936,000	65,422,000	64,644,000
	決算	60,255,840	55,374,906	61,869,883	
支出	予算	62,320,000	63,936,000	65,422,000	64,644,000
	決算	60,255,840	55,374,906	61,869,883	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
事業について		
	生活相談、健康相談を行っている	○
	教養講座等を行っている	○
	老人クラブに対する援助等を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	施設の長を配置している	○
	相談・指導を行う職員を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	サービス提供に必要な設備を備えている	○

結果

適合

加算評価項目				
項目		極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
来館者数		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者総数43,614人、新規利用登録者570人、1日の平均利用者159人となっており、区唯一の老人福祉センターとして多くの来館者があることは評価できる。 ・利用者アンケートの結果から、施設サービス全般に対する満足度が80%に達するなど、良好な評価を得ている。 ・サマーボランティアスクールの小中学生ボランティアの受け入れを行い、開かれた施設として交流の機会を設けていることは評価できる。 				
改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）				
財務・労務評価表				
評価項目		評価内容		評価
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。		A
	予算管理が適正である	事業活動収支差額は事業活動収入が支出を上回り、黒字であることから適正な予算執行がされている。		A
	経費縮減の努力が行われている	実績が予算を下回り、経費縮減の努力が行われている。		A
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の三期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性、健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。		S
労務	労働環境が適正である	雇用通知書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。		A

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターとして担うべき、生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務など、確実に履行している。 ・利用者に対して職員が積極的にコミュニケーションを図り、リハビリ訓練や介護予防の取り組みに関心が持てるよう働きかけている。また、各種教室終了後も利用者が体操に取り組んだり、他者との交流事業に参加したり、自主サークルの立ち上げにより、継続して施設を利用してもらうための取り組みが行われている。 ・利用者アンケートや受講者アンケートなどの結果を反映させるとともに、各種行事や講座等の終了後には、職員間で事業評価を行い、事業の見直しが行われている。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費縮減の努力を行っている。 ・法人決算について、指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。指定管理者業務は確実に履行されており、サービス面、財務・労務面ともに良好であったので、指定管理業務は適正に行われていた。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立授産場
	所在地	荒川区東尾久4-32-7
指定管理者	名称	公益社団法人 荒川区シルバー人材センター
	所在地	荒川区東尾久4-32-7
施設開設年月日		昭和53年3月東京都から移管
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
業務内容		荒川区立授産場条例の規定に基づく業務 (1) 事業に関する業務 ア：作業及びそれに必要な設備の提供に関する事 イ：作業の相談及び指導に関する事 (2) 本施設の維持管理に関する業務 ア：施設及び付属設備の保守点検に関する業務 イ：施設の清掃に関する業務 ウ：備品の管理に関する業務 エ：その他維持管理に関する業務 (3) その他区が必要と認める業務

平成26年度の事業計画

- (1) 事業の運営については、今日まで培ってきた授産場運営のノウハウを活かし、利用者に適切な仕事を提供することで、生き甲斐づくりと健康で安定した生活を営んでもらえるよう努める。
- (2) 利用者の工賃確保のため、不況等で1社あたりの受注量が減少する中、常に新規の企業の開拓に心がけ、毎月の工賃が平準化するよう努める。
- (3) 利用者の健康維持のため医師による健康診断を月に2回実施するとともに、毎日15分間の体操の時間を設け作業の安全と健康増進に努める。
- (4) 利用者等の個人情報保護については、緊急時対応のための情報のみを保有することとし、取扱いには常に細心の注意を払う。

平成26年度の事業実績

- (1) 26年度末利用者は、20名である。
- (2) 受注については11社である。（25年度実績12社から減）
- (3) 月別平均工賃は、43,735円（25年：35,983円）となっており、前年度より21.5%あがった。最高月は12月の53,227円（25年度：12月50,842円）最低月は8月の37,575円（25年度：8月22,537円）となっている。
- (4) 健康管理については、毎月2回（第2・4火曜日）に嘱託医による問診、血圧測定等を実施し、利用者の健康管理に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	16,435,000	16,671,000	17,137,000	16,847,000
	決算	16,192,170	16,017,093	16,059,559	
支出	予算	16,435,000	16,671,000	17,137,000	16,847,000
	決算	16,192,170	16,017,093	16,059,559	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
事業について		
	荒川区立授産場指定管理者業務仕様書に則して適切に運営されている	○
	苦情を受け付けるための窓口を設置している	○
	非常災害対策を行っている	○
	健康管理を行っている	○
人員配置基準を満たしているか		
	施設長を配置している	○
	作業指導員を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	作業室、作業設備など基準を満たした設備を設けている	○
	結果	適合

加点評価項目

項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
安定した工賃確保に努めている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自主的な取り組み		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・受注先数については減少したが、1社あたりの受注量の増加に努めたため、安定した工賃確保が図れている。
- ・利用者アンケートの結果から、授産場での作業を続けたいかの問いに対し、89%が続けたいという回答があるなど良好な評価を得ている。
- ・授産場長を含めた指導員会議を定期的実施し、作業計画や作業状況等について、情報の共有化を図っている。

改善すべき点等（取組が行われていない、または取組が十分でない場合）

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等の審査の結果、予算管理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	収支等の予算と実績を比較し、差額が概ね10%程度であり、予算管理が適正に行われている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	予算の執行努力により、決算額が過年度の実績と比べても良好であり、経費縮減の努力が行われている	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	3期の決算書に基づいて財務診断をした結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性についてA評価となり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	荒川区の給料表に準じ、賃金台帳兼源泉徴収表、36協定書、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・月一人当たりの平均工賃は43,735円となり、前年度35,868円を上回っている。 ・自らが働いて工賃を得るという「生きがい」を付与するという点で評価できる。 ・授産場の会議室について、地域住民の利用に供している。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正に行われている。また指定管理者である公益社団法人荒川区シルバー人材センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。
総合評価	<p>法令基準等については、すべて適合している。</p> <p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p> <p>また、前年度と比較して、月一人当たりの平均工賃額が増えており、適正な運営が行われている。</p>

担当所管部	
部	福祉部
課	高齢者福祉課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川福祉作業所
	所在地	荒川区荒川1-53-9
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		・ 知的障がい又は身体障がいのために就労能力の限られている人を対象に、作業指導及び生活指導等を通じて社会の一員として充実した生活ができるよう、自立援助を行う。
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労継続支援事業B型については、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入増を図る。 ・ 就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。 ・ 家庭及び関係機関との連携並びに地域との交流を図り、地域での自立生活を支援する。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労継続支援事業B型40人（定員48人） 就労移行支援事業1人（定員7人） ・ 利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導した。 ・ 利用者及び保護者の要望に応え、月一回の選択活動（創作・ゲーム等）を取り入れた。 ・ 50歳以上の利用者を対象に健康に関する講義や体を動かすなどの健康増進プログラムを企画し、毎月実施した。 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	195,432,000	207,419,847	211,132,701	214,130,423
	決算	186,703,827	195,065,639	201,966,072	
支出	予算	195,432,000	207,419,847	211,132,701	214,130,423
	決算	186,703,827	195,065,639	201,966,072	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

・ 収支予算額・決算額は、荒川生活実習所の人件費、事業費を含んでいる。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○
	衛生管理がなされている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者及びサービス管理責任者を配置している	○
	看護職員及び生活支援員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○
結果		適合

加点点評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では、41人中35人が満足であると回答している（85％）。
- ・ 施設公開を実施や地域の清掃活動に参加するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 防災訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	資金収支内訳表、事業報告書等を審査した結果適正に実施されている。	A	A
	予算管理が適正である	予算実績に乖離のある項目について合理的な理由が付されており、適正に管理されている。	S	
	経費縮減の努力が行われている	全般的に経費が減少しており、経費縮減努力が認められる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性、健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一部、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は良好である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、行事への参加や施設公開など地域との交流も積極的に行っている。 ・履歴書作成などの就労プログラムの実施や、ばん座位体操を実施して毎日体を動かす機会を作ったほか、個別面談によるニーズの把握など、サービスの充実に努めている。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた作業支援や生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待でき、サービス面において評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。また、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・また、労務面について、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働環境は良好である。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川生活実習所
	所在地	荒川区荒川1-53-9
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけ、生活を楽しむ活動を通して生活の安定を図る。 ・諸活動に取り組むことで、生活スキル、社会的スキルや様々な人とともに生活していくための関係性を身につけ、豊かな生活を送るようにする。 ・施設と家庭が連携し、相互理解を深め支援の一貫性を図る。 ・地域の施設として地域住民との交流を深める活動を行う。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数35人（定員40人） ・日常生活活動として、食事、排泄、清潔保持等の介助を行った。 ・利用者の加齢や重度化に伴う体調管理など、個々人の状態に合わせたプログラムを実施した。また、バイタルチェックをこまめに行った。 ・ボランティアと連携した音楽活動の実施のほか、保育士実習や介護実習を受け入れた。 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	195,432,000	207,419,847	211,132,701	214,130,423
	決算	186,703,827	195,065,639	201,966,072	
支出	予算	195,432,000	207,419,847	211,132,701	214,130,423
	決算	186,703,827	195,065,639	201,966,072	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

・ 収支予算額・決算額は、荒川福祉作業所の人件費、事業費を含んでいる。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○
	衛生管理がなされている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者及びサービス管理責任者を配置している	○
	看護職員及び生活支援員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○
結果		適合

加算評価項目

項目	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では、17人中13人が満足であると回答している（76％）。
- ・ 施設公開の実施など、地域との交流を図っている。
- ・ 防災訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	資金収支内訳表、事業報告書等を審査した結果適正に実施されている。	A	A
	予算管理が適正である	予算実績に乖離のある項目について合理的な理由が付されており、適正に管理されている。	S	
	経費縮減の努力が行われている	全般的に経費が減少しており、経費縮減努力が認められる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性、健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一部、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は良好である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、個人情報保護など適切な運営がなされており、行事への参加や施設公開など地域との交流も積極的に行っている。 ・親なき後の生活を各家庭が安心して考えていけるよう、利用家庭に対し地域サービス利用の説明会や保護者面談を行っているほか、幅広い年齢層の利用者に考慮し医療機関やグループホームと連携して体調変化に早期に対応できる体制づくりに取り組むなど、サービスの充実に努めている。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待でき、サービス面において評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。また、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・また、労務面について、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働環境は良好である。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場
	所在地	荒川区西尾久6-17-3 / 荒川区西尾久4-6-4
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成7年4月1日 / 平成14年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成33年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・重度の障がい者が、生まれ育った地域で生きていくこと、地域に障がいへの理解を深めてもらうことを目指す。 ・利用者や家族の意向に沿った支援を心がけ、自己選択や自己決定ができる環境づくりに配慮する。 ・個性を尊重した生活訓練や作業訓練を行い、能力を発揮し、自分らしく生きられるように支援する。 ・地域住民との関わりを深め、孤立化を防ぎ、社会参加できるよう支援する。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数39人（定員39人） / 分場18人（定員19人） ・基本的な生活習慣の確立と生活能力の向上等を図るため、リズム体操、陶芸、調理実習など各種作業訓練事業を実施した。 ・情報誌の発行、施設公開、絵画展示などの実施など、地域交流に積極的に取り組んだ。 ・保護者会、グループ保護者会を開催を通じて、役員会の運営を支援することで保護者との連携を密にした。 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	223,397,705	216,063,926	232,054,409	236,239,967
	決算	220,885,849	215,789,833	230,386,208	
支出	予算	223,397,705	216,063,926	232,054,409	236,239,967
	決算	220,885,849	215,789,833	230,386,208	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○
	衛生管理がなされている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者及びサービス管理責任者を配置している	○
	看護職員及び生活支援員等を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	訓練・作業室等その他運営上必要な設備を持って運営している	○

結果

適合

加算評価項目

項目	評価	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では44人中33人が満足であると回答している（75%。主に保護者が回答）。
- ・ 施設公開の実施や地域の清掃活動に参加するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 防災訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	資金収支内訳表、事業報告書等を審査した結果適正に実施されている。	A	A
	予算管理が適正である	予算実績に乖離のある項目について合理的な理由が付されており、適正に管理されている。	S	
	経費縮減の努力が行われている	全般的に経費が減少しており、経費縮減努力が認められる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性、健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一部、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は良好である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、行事への参加や施設公開、喫茶コーナーの運営など地域との交流も積極的に行っている。 ・サービス面では、個別支援計画の柔軟な見直し等による、利用者や家族の意向に沿った支援の充実に努めた。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待でき、サービス面において評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。また、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・また、労務面について、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働環境は良好である。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立障害者福祉会館（アクロスあらかわ）
	所在地	荒川区荒川2-57-8
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成9年8月22日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成26年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者が地域の中で豊かに暮らしていくことを目指し、障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場を提供するとともに、障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会などの各種事業を実施する。

平成26年度の事業計画

- ・ 障がいのある方の社会参加を支援する地域の拠点に加え、福祉教育や特定相談支援の機能を併せ持つことにより、自立と社会参加の促進を進める。
- ・ 講座や事業、イベントの事業運営に当たっては、ニーズを的確にキャッチして企画を実施し、障がいのある方や当事者団体と連携・協力していく。
- ・ 日々の運営や事業を通して、地元町会や障がい者団体、ボランティアとの地域の支えあいのネットワークを作る。
- ・ ノーマライゼーションの理念の実現に向け、長年培ってきた多くの方々や団体との協力・共同の関係を一層深める。

平成26年度の事業実績

- ・ 施設利用者総数65,694人（25年度66,914人）
- ・ 貸室利用件数（貸出率）：多目的ホール1,682件（80%）、
第一・第二会議室1,224件（58%）、第三会議室284件（27%）
- その他、以下の事業を実施した。
- ・ 特定相談事業（計画作成及びモニタリング）
- ・ 文化・教養講座事業（料理教室、リズム体操教室等）
- ・ IT講習会事業（障がい者向けのほか、介助者向けITサポーター講座）
- ・ ふれあい事業（バリアフリー講座、ボランティア講座等）
- ・ ばん座位体操、アクロス・連合会まつり等

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	39,984,536	41,775,573	50,767,355	48,378,273
	決算	39,984,536	41,775,573	42,002,109	
支出	予算	39,984,536	41,775,573	50,767,355	48,378,273
	決算	39,984,536	41,775,573	42,002,109	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

- ・平成25年度はエレベーター改修工事を行ったため、平成24年度に比べて予算及び決算が増加している。平成26年度は新規に指定特定相談支援事業を行うため予算増となっている。
- ・なお、26年度においては、返還金の発生にともない収入を払い戻ししている。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	障がい者が利用しやすい施設の運営、情報収集及び提供ができています	○
	衛生管理がなされている	○
	個人情報などの管理が適正である	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者を配置している（特定相談支援事業）	○
	運営や利用サービスのために必要な職員数を配置している	○
設備基準を満たしているか		
	運営に必要な設備及び備品等を備えている	○
結果		適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では、112人中88人が満足であると回答している（78%）。
- ・ 施設公開を実施するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 避難所開設訓練等、地域と合同の訓練を行うなど、防災対策に積極的に取り組んでいる。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	資金収支内訳表、事業報告書等を審査した結果適正に実施されている。	A	A
	予算管理が適正である	予算実績に乖離のある項目について合理的な理由が付されており、適正に管理されている。	S	
	経費縮減の努力が行われている	全般的に経費が減少しており、経費縮減努力が認められる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性、健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一部、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は良好である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、個人情報保護など適切な運営がなされており、行事への参加など地域との交流も積極的に行っている。 ・具体的には、喫茶コーナーを活用して、環境課と連携した「街なか避暑地」などの取組を行ったほか、地元町会と合同による防災訓練を行い、応急救護訓練を行うなど実践的な訓練を行った。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた事業を実施することにより、施設への満足度や貸出率の向上が期待でき、サービス面において評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。また、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・また、労務面について、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働環境は良好である。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）
	所在地	荒川区東尾久5-45-11
指定管理者	名称	社会福祉法人 トラムあらかわ
	所在地	荒川区東尾久3-20-10 ベルメゾンエス2階
施設開設年月日		平成15年1月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成15年1月4日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で生活する精神障がい者の日常生活の支援、相談を行い、精神障がい者の社会復帰と自立、社会参加を促進するため、憩いや地域交流ができる場を提供し、精神ボランティア活動等の拠点とする。

平成26年度の事業計画

地域活動支援センターとして、精神障がい者が地域社会で生活しやすい環境づくりに努めることを基本方針に掲げて、以下の取組を行う。

- ・ 障がい者の地域活動支援として、グループ活動や各種の講座、利用者のミーティング等を実施。
- ・ 地域交流活動として、公開講座のほか、納涼祭等のイベントを開催。
- ・ 相談活動として、電話や面接による相談のほか、特定相談支援事業として、サービス等利用計画の作成を実施。

平成26年度の事業実績

- 以下の事業を実施した。
- ・ 相談支援事業 相談件数 16,595件（25年度 15,261件）
 - ・ プログラム参加者数 3,994件（25年度 3,931件）
 - ※実施内容等 {創作的・レクリエーション的活動プログラム（夕食会・就労準備講座等）自主活動的プログラム（家族教室、セルフヘルプミーティング等）、地域交流プログラム(ボランティア講座、園芸ボランティア、スポーツ交流祭、きもちトークツアー等)}
 - ・ 特定相談支援事業 計画作成及びモニタリング 総件数 56件（26年度より開始）
 - ・ 実習生受入 など

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	33,831,000	34,559,000	38,989,235	40,459,434
	決算	33,831,000	34,559,000	36,907,038	
支出	予算	33,831,000	34,559,000	38,989,235	40,459,434
	決算	33,831,000	34,559,000	36,907,038	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

・ 26年度においては、返還金の発生にともない収入を払い戻ししている。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	衛生管理がなされている	○
	個人情報などの管理が適正である	○
人員配置基準を満たしているか		
	施設長を配置している	○
	指導員を2名以上配置している	○
設備基準を満たしているか		
	創作的活動の機会の提供及び社会との交流促進等に必要な設備及び備品等を備えている	○
結果		適合

加算評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では、31人中24人が満足であると回答している（77%）。
- ・ 家族会が喫茶コーナーを運営するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 防災訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	資金収支内訳表、事業報告書等を審査した結果適正に実施されている。	A	A
	予算管理が適正である	予算実績に乖離のある項目について合理的な理由が付されており、適正に管理されている。	S	
	経費縮減の努力が行われている	全般的に経費が減少しており、経費縮減努力が認められる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務評価をした結果、安全性、健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一部、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は良好である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、個人情報保護など適切な運営がなされており、行事への参加など地域との交流も積極的に行っている。 ・サービス面としては、土日も含めた電話相談の実施や、ボランティア講座の開催などの取組を実施した。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた事業を実施することにより、施設への満足度の向上等が期待でき、サービス面において評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。 ・また、労務面について、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働環境は良好である。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立障害者グループホーム（ピアホーム西日暮里）
	所在地	荒川区西日暮里2-2-6
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 東京福祉協議会
	所在地	練馬区桜台1-12-2-416
施設開設年月日		平成6年4月
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成26年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が、地域において自立した日常生活を送れることを目的として、企業及び福祉作業所等で就労している知的障がい者に居住の場を提供し、日常生活の援助及び生活指導を行う。 ・また、介護者の自由により、在宅の障がい者を一時的に介護できない時に保護する緊急一時保護事業を行う。

平成26年度の事業計画

利用者の人権を尊重し、利用者及び支援者の希望に沿った支援を行い、安全で穏やかな日常生活を提供するため、以下の取組を行う。

- ・グループホームの利用者支援として、利用者のニーズをとらえ満足度の向上に努めるとともに、関係機関との連携を図り利用を促進する。また、定期的に就労・通所先に訪問し、意見を生活に反映するとともに、ボランティア等の活用を図り、余暇を充実し、満足感のある日常生活の提供を図る。
- ・また、緊急一時保護事業として、利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、適切な支援・サービスの提供をし、利用者の満足度を高める。

平成26年度の事業実績

- ・利用者数：グループホーム 延4人（定員4人） / 緊急一時 延111人（定員2人/日）
- ・グループホーム、緊急一時保護事業とも、利用者が有意義な生活を過ごせるよう、利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、個々に応じた支援を行った。
- ・生活面においては、食事や行事などにおいて、平日と休日のメリハリづくりに努めた。
- ・また、地域が実施している「日曜カフェ」に場所を提供し、利用者も積極的に参加した。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	22,539,167	22,785,340	21,014,289	21,457,425
	決算	21,947,075	22,257,971	20,828,968	
支出	予算	22,539,167	22,785,340	21,014,289	21,457,425
	決算	21,947,075	22,235,971	20,828,968	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

・平成26年度から、現指定管理者が業務を実施している。

法令基準等への適合状況

確認項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	運営規定を定めており、適切に守られている	○
	重要事項を記した説明を行い、同意を得ている	○
	衛生管理がなされている	○
人員配置基準を満たしているか		
	管理者及びサービス管理責任者を配置している	○
	常勤職員の他に代替職員を確保している	○
設備基準を満たしているか		
	利用者の居室等その他運営上必要な設備を適切に管理し、運営している	○
結果		適合

加点点評価項目

項目	評価		
	極めて 良好である	良好である	取組が行われていない、または取組が十分でない
利用者アンケート及び施設利用の満足度の結果	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域交流を積極的に行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
災害時に対応できる取組を行っている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・ 利用状況調査では、実施対象者全員が満足であると回答している（100%）。
- ・ 地域が実施するカフェに参加するなど、地域との交流を図っている。
- ・ 防災訓練を実施している。

改善すべき点等

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	資金収支内訳表、事業報告書等を審査した結果、概ね適正に実施されている。	B	B
	予算管理が適正である	初年度であった為か、予算・実績に軽微な乖離があったが、いずれも合理的な理由によるものであり、概ね適正に管理されていた。	B	
	経費縮減の努力が行われている	個別には軽微な予算対比乖離があったが全体としては縮減努力が認められる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務評価をした結果、正味資産が少なく、有利子負債への依存度が高いが、収益性、成長性、安全性、健全性については概ね確保されており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	B	
労務	労働環境が適正である	雇用契約、賃金台帳、健康診断受診報告等を確認した結果、概ね要件を満たしていた。提出書類に軽微な不備が見られたが、管理・報告体制の改善計画が認められた。	B	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、行事への参加など地域との交流も積極的に行っている。 ・サービス面では、グループホーム入居者だけでなく緊急一時保護事業利用者に対しても、個別支援計画を基に、利用者の障害特性に応じた支援を行った。 ・今後も、利用者のニーズを踏まえた事業を実施することにより、施設への満足度の向上等が期待でき、サービス面において評価できる。
財務・労務面	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面において、施設の会計手続や予算管理は概ね適正であり、経費削減努力も行われている。収益性、成長性、安全性、健全性等については概ね確保されており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 ・また、労務面について、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診報告等、概ね要件を満たしていた。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準等については、すべて適合している。 ・サービス面、財務・労務面とも、指定管理業務はおおむね適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	障害者福祉課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立小台橋保育園
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
施設開設年月日		平成16年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成26年度の事業計画		
<p>・施設の計画的補修、備品器具什器や園庭遊具の安全点検を実施する。保育室内の温度、湿度、換気、採光を適切に管理し、施設内外の設備・用語の衛生管理に努めるほか、施設内の清掃・消毒を実施し、衛生状態の保持に努める。</p> <p>・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員同士で情報を共有化できるよう心掛け、職員意識の一体化をとおして保育サービスの向上に努める。施設内外研修を積極的に実施するほか、専門分野を超えた幅広い研修機会を設ける。</p> <p>・保育目標の下、①保育計画及び評価、②保育行事の積極的実施、③体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動、④特別支援児保育、⑤小学校との連携、⑥保護者支援、⑦健康管理及び支援、⑧食育及び給食の実施、⑨環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。</p> <p>・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇談会や保育参加、個人面談等を開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。</p> <p>・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。</p> <p>・小学校との連携や中高生との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて地域交流を図るほか、子育て交流サロンで積極的に在宅支援を行う。</p>		
平成26年度の事業実績		
<p>・適切に施設管理を行った。</p> <p>・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。</p> <p>・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。</p> <p>・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。</p> <p>・適切に危機管理を行った。</p> <p>・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。</p>		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	244,031,989	244,317,739	243,931,135	236,305,393
	決算	244,204,679	244,315,739	243,942,335	
支出	予算	240,488,749	224,608,038	225,099,955	222,823,097
	決算	237,033,937	224,491,782	223,182,924	
収支	予算	3,543,240	19,709,701	18,831,180	13,482,296
	決算	7,170,742	19,823,957	20,759,411	

（備考）

法令等基準への適合状況

評価項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。		○
結果	適合	

加点点評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組①について高い実績を残している。(※)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組②について高い実績を残している。(※)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組③について高い実績を残している。(※)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容 ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。 ・利用者満足度は85.2%で、極めて高い。 ・適正に施設・設備管理を実施している。 ・区民雇用率は49.3%で極めて高く、高齢者や小学生との交流等地域活動も積極的に行っている。 【特徴的な取組】 ①食育の推進：自分たちが育てた野菜を食べることで、食べ物の大切さを感じ、感謝の気持ちを養うとともに、給食献立や食材への関心を広げることができた。 ②運動あそび：広い園庭で様々な遊びを展開することで、基礎体力の向上や心身の発達を促すとともに、協調性や状況判断力を養うことにつながった。 ③卒園生によるサマーボランティア：10年以上継続している本事業では、卒園生が園児の世話や手伝いを行うボランティア活動を通して、思いやりや社会性を育てる貴重な機会となっている。26年度は小学生から大学生まで延べ295名が参加した。			
改善すべき点等 			

※「特徴的な取組」は1つ以上最大3つまで設定する

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果会計処理は適正に行われていた。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算と比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費実績は予算とほぼ等しく、又、前年より低下しており、経費節減・効果的運用努力は行われていた。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務面	財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立上尾久保育園
	所在地	荒川区西尾久8-10-12
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		昭和57年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施する。園舎、園庭、遊具等の危険個所の点検を常に行い、安全性向上に心掛ける。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより職員全員が成果を共有できるよう努める。労務問題も知識の共有化を図る。 ・乳幼児が、初めての集団生活で食事・睡眠・排泄ができ、物事に対する善悪の判断や人に対する優しさ、いのちの尊さを大切にできるよう、また地域の中でいきいきと健やかに育つよう、心豊かな保育を実践し、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。 ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し改善策を園内に掲示する等積極的な対応を図る。 ・年間計画をたてて毎月避難訓練を行うほか、年2回尾久消防署の来訪指導を受ける。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を図る。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。 ・地域に向けた情報の発信、広報を行う。運動会、敬老会等に地域住民を招待するほか、通所サービスセンターの高齢者との交流会を実施する。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。 ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	191,062,000	202,260,000	202,934,000	195,261,000
	決算	197,684,448	202,251,143	202,925,411	
支出	予算	166,510,000	161,273,600	169,531,000	185,543,000
	決算	162,242,099	161,125,092	169,467,121	
収支	予算	24,552,000	40,986,400	33,403,000	9,718,000
	決算	35,442,349	41,126,051	33,458,290	

（備考）

法令等基準への適合状況

評価項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。	○
人員配置基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
設備基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	結果	適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組①について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組②について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組③について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は96.4%で、極めて高い。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・区民雇用率は57.6%で極めて高く、高齢者との交流、健康増進支援等地域活動支援を着実にやっている。

【特徴的な取組】

- ①子どもの情操教育：体育遊び、科学遊び、園庭遊び、戸外散歩などを通じて、子どもの情操に役立つ伸び伸びとした保育に取り組んだ。特に、体育遊びでは個人の体力や協力し合う心、科学遊びでは発見する力、考える力を養うことができた。
- ②地域・社会との連携：園庭開放による地域の子どもたちとの交流や、法人内の老人保健施設等のお年寄りとの交流を通じ、思いやりや優しさの心を養うことができた。
- ③食育の推進：食物を育て、食材に触れることで、作る楽しさと食べる喜びを覚え豊かな人間性を育てることにつながった。また行事食を通じ、伝統文化や由来などを知る機会を作ることができた。

改善すべき点等

※「特徴的な取組」は1つ以上最大3つまで設定する

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算などから収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費実績は予算とほぼ等しく、前年より低下しており、経費節減・効果的運用努力は行われていた。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務面	財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れて、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住さくら保育園
	所在地	荒川区南千住4-9-4
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・設備の補修、点検をきめ細やかに実施する。園舎、園庭、遊具等の危険個所の点検を常に行い、安全性向上に心掛ける。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、仕事を通じての研修を中心に据え、研修後は報告レポートにより職員全員が成果を共有できるよう努める。労務問題も知識の共有化を図る。 ・家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補てんを行い、子供が健康かつ安全で情緒の安定した生活を送れる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら、豊かな人間性を培えるよう努める。地域に根差した保育運営に心掛けるとともに、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。 ・事故発生時には、法人関連の医療機関で迅速に対応する。苦情に対して迅速かつ適切に対応するため、苦情解決マニュアルを配置するほか、苦情箱を設置し改善策を園内に掲示する等積極的な対応を図る。 ・年間計画をたてて毎月避難訓練を行うほか、年2回荒川消防署（汐入出張所）の来訪指導を受ける。非常用備蓄食品の計画的購入に努める。法人全体として、個人情報保護規定を作成し、職員から個人情報保護に関する誓約書を徴収し、適切な管理を図る。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。 ・地域に向けた情報の発信、広報を行う。夏祭り、運動会、高齢者との交流会等に地域住民を積極的に招くことで、地域とともに子育てを支援する体制を強化する。法人関連の医療機関による健康相談を積極的に開催する。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。 ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

施設決算状況					
年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	201,664,000	204,898,000	203,504,000	207,218,000
	決算	204,494,384	204,848,216	203,472,382	
支出	予算	170,227,000	167,794,000	158,408,000	190,709,000
	決算	165,578,025	167,611,602	158,322,871	
収支	予算	31,437,000	37,104,000	45,096,000	16,509,000
	決算	38,916,359	37,236,614	45,149,511	
(備考)					

法令等基準への適合状況		
評価項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。	○
人員配置基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
設備基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
		結果 適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組①について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組②について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組③について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
 ・利用者満足度は77.7%で、高い。
 ・適正に施設・設備管理を実施している。
 ・区民雇用率は23.3%で高く、高齢者との交流等地域活動支援を着実にやっている。

【特徴的な取組】
 ①食育推進：健康な生活の基本として、楽しく食べる体験を深めるとともに、旬の食材や行事食などを通じて自然の恵みに感謝する心を育むことができた。
 ②地域交流：在宅育児家庭の子どもたちに園の行事に参加してもらうことや、お年寄りの施設を訪問することなど様々な交流の機会を設けるとともに、地域の幼稚園・保育園との6園交流会を実施することができた。
 ③特色保育：体育遊び、科学遊び、おはなし会などを通じて、日常の保育だけでは得られない心身の成長を促し、心の内に秘めている可能性を引き出すとともに自立への基礎づくりを行った。

改善すべき点等

※「特徴的な取組」は1つ以上最大3つまで設定する

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費実績は予算とほぼ等しく、又、前年より低下しており、経費節減・効果的運用努力は行われていた。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務面	財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れ、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施内容？、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立汐入とちのき保育園
	所在地	荒川区南千住8-3-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子2-19-21
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・園庭を整備し、安全で安らぎのある場として整える。保育室や備品類等が使いやすいよう工夫し、子どもが安心して生活できるよう環境を整える。 ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。研修については、それぞれの段階に応じて必要な専門知識、技術を身に着けられるよう工夫するほか、研修成果の報告・共有化を図る。 ・子ども達一人ひとりと丁寧に向き合い、受け止め愛おしい存在として認める環境を用意し、その中で様々な心の動きを体験し、自信・満足感・意欲を持ち互いに育ちあえる保育の援助を行う。保護者との信頼の絆をしっかりと結ぶことを心掛けるほか、地域に根差した保育園を目指す。 ・アンケートの実施や意見箱の設置等により、利用者意見をくみ取るよう努める。苦情に対しては、対応マニュアルの整備等により、適切に対応している。 ・月1回以上の防災安全点検、避難訓練、初期消火訓練、応急救護、AED訓練等を実施する。事故未然防止策、ヒヤリハット事例を職員間で共有し、怪我等を未然に防げるよう努めていく。法人全体の個人情報保護規定の会議での読み合わせや個人情報保護研修を実施する。 ・卒園児の子育てボランティアや父親の子育て参加を始めとして、子育てを社会全体で支援するため、地域の老人会、小中学校との交流、子どもに携わる施設との交流を積極的に行う。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に施設の維持管理を行った。 ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。 ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。 ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。 ・適切に危機管理を行った。 ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。 		

施設決算状況					
年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	214,851,000	218,894,000	223,356,000	221,685,000
	決算	214,837,305	218,674,714	227,536,779	
支出	予算	212,699,000	215,080,000	219,343,000	211,048,000
	決算	206,029,580	215,131,599	219,318,921	
収支	予算	2,152,000	3,814,000	4,013,000	10,637,000
	決算	8,807,725	3,543,115	8,217,858	
（備考）					

法令等基準への適合状況		
評価項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。	○
人員配置基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
設備基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
結果		適合

加点点評価項目				
項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組①について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組②について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組③について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。 ・利用者満足度は84.5%で、極めて高い。 ・適正に施設・設備管理を実施している。 ・高齢者・小学生との交流、情報誌の発行等地域活動支援を積極的に行っている。 <p>【特徴的な取組】</p> <p>①保育の向上：発達の上で気になる子どもに対する理解と関わり方について、全職員が共通認識を持てるよう会議や園内研修、講演会等を通して学んだ。こうした取組により、子どもの発達の援助、子ども自身の大きな変化につながった。</p> <p>②食育の推進：野菜の栽培、クッキング、季節の行事と食などの様々な活動を通して、子どもたちの五感を刺激しながら、食べること、生きることを知るにつなげることができた。</p> <p>③保健健康教室：身体に関するパネルシアターやDVD等を使用することで、身体全体の仕組みや機能が分かり、「からだ」についての関心を持つとともに、自分自身を大切にすることを育てることができた。</p>				
改善すべき点等				

※「特徴的な取組」は1つ以上最大3つまで設定する

財務・労務評価表				
評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果会計処理は適正に行われていた。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算などと比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費実績は予算とほぼ等しく、又、前年より低下しており、経費節減・効果的運用努力は行われていた。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性が低下しているが、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務面	財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性が低下しているが、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好で、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区立はなみずき保育園
	所在地	荒川区南千住8-5-5
指定管理者	名称	株式会社 こどもの森
	所在地	国分寺市光町2-5-1
施設開設年月日		平成18年1月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年1月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。

平成26年度の事業計画

- ・職員全員で積極的に環境整備に取り組むことで、事故やけがの予防につながる施設の適正な維持管理に努める。職員の意識向上のため、定期的な専門講師による環境整備についての研修を開催する。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。グループ力を活かした他園見学、経験別研修をはじめ充実した研修を開催し、積極的に参加するよう職員に働きかける。スタッフシートを職員育成にも活用する。
- ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、一人ひとりを大切に生きる力を育て、「輪・和の保育」を創造することを理念として保育を実践する。食育の推進、地域間・世代間交流の実施、父親の子育てに対する意識喚起、在宅育児支援等を積極的に行う。専門家による英語・音楽・体操指導等を通して、子供が多くの体験を積める機会を設ける。
- ・「ご意見箱」やアンケート等により保護者の声を様々な方法で受け付ける。苦情に対しては迅速かつ誠意ある対応を心掛けるとともに、苦情簿の整備、第三者委員の設置等によりより良い運営に役立てる。定期的に保護者アンケートを行い、運営面の改善を継続して図る。
- ・全職員に危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守徹底を図るほか、グループ力を活かして、他園の怪我・ヒヤリハット事例等を事故の未然防止に役立てる。事故・災害発生時には、法人本部や地域の関係機関と連携できるよう、体制強化に努める。避難訓練を毎月実施するほか、保護者への一斉配信メールサービス「らくらく連絡網」や災害時伝言掲示板を引き続き活用する。個人情報保護方針に基づき、適切かつ厳重な情報管理に努める。
- ・開かれた保育所として、保育園行事の開放や共同実施、世代間交流を図るほか、汐入地区の幼稚園等との交流会や自治会行事へ積極的に参加する。子育て交流サロンでは、育児相談・育児講座・情報提供等を実施する。

平成26年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。
- ・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。
- ・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。
- ・適切に危機管理を行った。
- ・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	231,005,000	231,505,000	235,600,000	241,650,000
	決算	229,447,149	232,128,929	237,406,357	
支出	予算	198,950,000	200,700,000	209,350,000	196,750,000
	決算	197,122,309	200,827,097	189,810,911	
収支	予算	32,055,000	30,805,000	26,250,000	44,900,000
	決算	32,324,840	31,301,832	47,595,446	

（備考）

法令等基準への適合状況

評価項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、 「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、 「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」。「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、 「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、 「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。		○
	結果	適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組①について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組②について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組③について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
 - ・利用者満足度は88.3%で、極めて高い。
 - ・適正に施設・設備管理を実施している。
 - ・小学生との交流、小中高生の育児体験等地域活動支援を着実にやっている。
- 【特徴的な取組】
- ①地域交流：自治会や婦人部、老人会との交流を積極的に行い、七夕飾り作成や運動会、文化祭などに参加した。またチャイルドセラピーでは、5歳児が病院のリハビリ利用者と折り紙やゲームを通じて親睦を深めた。
- ②教育の充実（幼児クラス）：朝マラソンで体力づくりを行うとともに、音楽・英語・体操指導などの教育的なカリキュラムを導入することで体験の場が広がり、充実した園生活につながった。「ワーク」では、文字に興味を持ち、絵本を読む回数の増加につながった。
- ③職員研修の充実：新卒・経験者・リーダー・主任・園長など階層別の研修のほか、スキルアップ研修を年3回以上受講し、自己啓発に努めた。海外研修（ドイツ）に2名が参加し、現地の保育園・幼稚園の視察を行った。

改善すべき点等

- ・職員研修を通じて、職員にどのような成果が見られたか、保育の現場にどう活かしているか挙げられると良い。

※「特徴的な取組」は1つ以上最大3つまで設定する

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費節減は行っているが、運用面では改善すべき点がある。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務面	財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用に関しては工夫の余地がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断など法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住保育園
	所在地	荒川区南千住6-35-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		昭和42年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。
平成26年度の事業計画		
<p>・防錆、防腐等をこまめにチェックして補修メンテナンスを行う。電気設備・昇降設備の点検等の一括発注によるコスト削減、証明・冷房スイッチのこまめな入切による光熱水費の削減など、効率のよい維持管理に努めるほか、園舎、園庭、遊具等の危険個所の安全点検を確実に実施する。</p> <p>・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。新規採用職員には、採用前に基本研修を法人本部で実施するほか、年間を通じて高い意識とビジョンをもって様々な研修を開催する。人事評価により、常にチャレンジ精神を持ち、互いに刺激し合い、学び合う環境を作る。労務問題に関する知識について職員間での共有化を図る。</p> <p>・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、隣人愛に基づく保育を行い、笑顔であいさつができ、心身ともに元気でたくましく生き抜く力を育む。集団生活や異年齢児交流をとおして、思いやる心や信頼する心を育成する。地域の子育て支援拠点として、質の向上のための評価プロセスの検証や保護者満足度の把握にも努める。</p> <p>・様々な配布物や面談、日々のあいさつ等を通じて、よりよい保育と信頼関係作りができるよう保護者とのコミュニケーションを図る。クレーム、苦情、相談、要望については、誠意を持って対応するとともに、プライバシーを配慮しながら結果を公表し、よりよい運営に反映させていく。</p> <p>・施設の危険防止対策として、保育リスクマネジメントマニュアルや安全配慮チェックリストを整備している。避難訓練年間計画や災害発生時の対応マニュアル等に基づき、毎月訓練を実施している。社会的責任を認識し、リスクマネジメント、インシデントレポート、緊急時対応、地域とのつながり強化等を確実に実施する。</p> <p>・地域に根差した施設を目指し、近隣の小中学校との交流や高齢者とのふれあいを通じ、地域一体となって連携の輪を深め、地域に向けた情報発信、広報を行う。</p>		
平成26年度の事業実績		
<p>・適切に施設の維持管理を行った。</p> <p>・適切に職員を配置したほか、研修の有効活用に努めた。</p> <p>・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。</p> <p>・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。</p> <p>・適切に危機管理を行った。</p> <p>・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。</p>		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	253,402,000	247,853,000	253,870,000	242,169,000
	決算	252,413,849	247,856,648	253,747,773	
支出	予算	231,313,000	224,530,000	211,122,000	228,586,000
	決算	236,353,428	224,335,352	211,079,077	
収支	予算	22,089,000	23,323,000	42,748,000	13,583,000
	決算	16,060,421	23,521,296	42,668,696	

（備考）

法令等基準への適合状況

評価項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。		○
区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。		○
人員配置基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。		○
設備基準を満たしているか		
国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。		○
都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。		○
区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。		○
	結果	適合

加算評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組①について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組②について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組③について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は82.1%で、極めて高い。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・高齢者・小学生との交流、健康増進支援事業等地域活動支援を積極的に行っている。

【特徴的な取組】

- ①食育の推進：園舎に隣接する畑での野菜の栽培、収穫、調理保育などの経験を通して、食への興味を持ち豊かな人間性を育てることができた。また、行事食などを通して和食や日本の文化を知る機会をつくった。
- ②絵本触れ合いコーナーの設置、絵本の貸出：1・2階に絵本触れ合いコーナーがあり、ソファやテーブルを設置し、登降園時に親子でゆったりと読み聞かせを楽しみ、ふれあいの場となっている。また、貸出可能な幼児用の絵本も豊富に取り揃え、保護者からも大変喜ばれた。
- ③特色保育（体育教室、科学あそび）：体育教室では、歩・走・跳を基本として、集団行動の中で何事にも全力で臨める心を育てることにつながった。科学あそびでは、空気の不思議さに触れるなど、いろいろな遊びを通して科学に関する体験をすることができた。

改善すべき点等

※「特徴的な取組」は1つ以上最大3つまで設定する

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費実績は予算とほぼ等しく、又、前年より低下しており、経費節減・効果的運用努力は行われていた。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務面	財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れて、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住七丁目保育園
	所在地	荒川区南千住7-20-13
指定管理者	名称	社会福祉法人 東萌会
	所在地	埼玉県越谷市七左町1-347
施設開設年月日		平成24年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年7月1日
指定期間		平成24年7月1日～平成29年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。

平成26年度の事業計画

- ・職員全員で積極的に環境整備に取り組むことで、自己や怪我の予防につながる施設の適正な維持管理に努めていく。専門事業者による安全点検を受診し、注意点等についてアドバイスをもらう。
- ・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。法人において充実した研修体制を整備し、園において積極的に参加するよう職員へ働きかける。
- ・保育所保育指針に沿った保育方針を基本として、一人ひとりを大切に、生きる力の基礎を培えるような保育を実践する。家庭との信頼関係構築のために、「職員と保護者の連携が深まるよう、情報の提供・交換の仕方を改善する」、「個々の利用者に応じた育児支援を強化する」という目標を掲げ、重点的に取り組む。食育の推進、地域間・世代間交流の実施、在宅育児支援等についても積極的に事業展開を図る。
- ・「ご意見箱」設置等により、保護者の声を様々な方法で受け付ける。苦情に対しては、苦情解決体制を整備し適切に対応する。意見・苦情は、対応策を含め原則として公開し、運営改善や問題等の再発防止につなげる。
- ・全職員に危機管理マニュアルや事故防止マニュアルの遵守徹底を図るほか、事故発生時に地域の関係機関と連携する体制を整備する。防災対策として、毎月の避難訓練や消火訓練の実施等に取り組む。食物アレルギーについて、誤食防止体制を維持する。個人情報保護方針に基づき、適切かつ厳重な管理を行う。
- ・開かれた保育所として、保育園行事の地域開放や世代間交流を図るほか、子育て交流サロンでは、育児相談・育児講座・在宅育児支援・情報提供等内容の充実に努め、地域での信頼感と存在意義向上を目指す。専門機関との連携により、次世代育成支援を行う。

平成26年度の事業実績

- ・適切に施設の維持管理を行った。
- ・適切に職員を配置したほか、特に個人情報保護と守秘義務に関する研修を重点的に実施した。
- ・利用者満足度調査結果を踏まえ、「子どもが楽しめる戸外遊び」や「災害発生時における地域間の連携強化」について重点的に見直し、工夫改善を図った。近隣高齢者施設を訪問し、世代間交流を行った。
- ・利用者からの意見や苦情等に対して適切に対応した。意見を踏まえ、4・5歳のピクニック開催数を増やした。
- ・中学校レスキュー部と合同避難訓練を実施し、連携強化を図った。アレルギー児と3か月に1回面談を実施、情報共有に努めた。
- ・子育て交流サロンでは多くの方にご利用頂いた。小中学校の職場体験受入れ、家庭福祉員との体操教室、夏祭りへの地域の方々の招待、等を通じて地域での存在意義向上を図った。

施設決算状況					
年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	152,213,000	213,436,000	218,935,000	202,655,000
	決算	152,209,860	213,424,208	218,903,399	
支出	予算	133,895,000	185,864,000	191,276,000	197,800,000
	決算	133,757,224	185,672,529	191,008,721	
収支	予算	18,318,000	27,572,000	27,659,000	4,855,000
	決算	18,452,636	27,751,679	27,894,678	
(備考)					

法令等基準への適合状況		
評価項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。	○
人員配置基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
設備基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
		結果
		適合

加点点評価項目

項目	評価	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組①について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組②について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組③について高い実績を残している。(※)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

- ・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
- ・利用者満足度は84.1%で、極めて高い。
- ・適正に施設・設備管理を実施している。
- ・小学生との交流、育児講座、出前保育等地域活動支援を積極的に行っている。

【特徴的な取組】

- ①保育事業（知育あそび）：専門研修を受けた保育士が、「SI遊び」という幼児教育プログラム（週1回40分程度）を実施し、子どもの意欲と好奇心を引き出しながら、幅広い思考力の基礎を育てることを目標に取り組んだ。
- ②防災訓練：近隣の南千住第二中学校と連携し合同避難訓練を行っている。レスキュー部の生徒が園児を迎えに来て、手をつないで一緒に避難をすることで、真剣に訓練に取り組む姿勢を学ぶとともに、異年齢との貴重な交流機会を設けることができた。
- ③姉妹園との交流会：同じ法人が運営する姉妹園4園の合同交流会を行った。4園が飛鳥山公園に集合し、ウォークラリーやクイズ遊びを楽しみ、一緒にお弁当を食べるなどの交流を通して、社会性、協調性、自主性を育てることができた。

改善すべき点等

※「特徴的な取組」は1つ以上最大3つまで設定する

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費実績は予算とほぼ等しい。経費実績は前年より増加しているが、収入も増加しており経費節減・効果的運用努力は行われていた。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務面	財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【A施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立夕やけこやけ保育園
	所在地	荒川区東日暮里3-11-19
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行う。	
平成26年度の事業計画		
<p>・施設管理は、日常的な目視による点検と定期点検を実施し、安全確保に努める。職員の工夫や意見を積極的に聴取し、効率的に進められるようコスト意識を持って対応する。</p> <p>・職員配置については、区の配置基準に基づき配置する。職員の育成については、施設内研修及び外部研修への積極的な参加を促し、保育実習や公開保育を通して、保育の振り返りにも努める。</p> <p>・保育目標の下、①保育計画及び評価、②保育行事の積極的実施、③体育遊びや異年齢児交流等特色のある保育活動、④特別支援児保育、⑤小学校との連携、⑥保護者支援、⑦健康管理及び支援、⑧食育及び給食の実施、⑨環境衛生と安全管理、に積極的に取り組む。</p> <p>・保護者との信頼関係が基本であるとの考えから、定期的な懇談会や保育参加、個人面談等を開催し、気軽に意見要望を聞く体制づくりに努める。保育方針や保護者との取り決めについて職員が共通の理解・認識を持ち、全職員が丁寧に説明できる体制を確保する。</p> <p>・所管消防署との連携を図り、火災・震災予防訓練を実施する。安全対策として、全職員が救命技能認定証を取得し、継続的に訓練を実施するほか、AED操作や心肺蘇生法等の研修を受講する。個人情報については、電子情報、書類双方について管理徹底を図る。</p> <p>・小学校との連携や中高生との異年齢交流、保育実習生の受入れ等を通じて地域交流を図るほか、ふれあい館との合築という構造を活かして、多様な世代や地域との交流に努める。</p>		
平成26年度の事業実績		
<p>・適切に施設管理を行った。</p> <p>・適切に職員を配置したほか、積極的な研修開催に努めた。</p> <p>・保育サービスについて計画どおり適切に実施した。</p> <p>・利用者からの意見や苦情、また事故等に対して適切に対応した。</p> <p>・適切に危機管理を行った。</p> <p>・地域への取組について、積極的な事業実施に取り組んだ。</p>		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算		207,902,148	220,882,690	221,172,725
	決算		207,901,830	220,894,290	
支出	予算		188,898,775	204,254,454	215,546,896
	決算		188,631,518	204,577,570	
収支	予算		19,003,373	16,628,236	5,625,829
	決算		19,270,312	16,316,720	

（備考）

法令等基準への適合状況

評価項目		適合判断
運営基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「保育所保育指針」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた運営を行っている。	○
	区基準（「荒川区個人情報保護条例」、「荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例」、等）に基づいた運営を行っている。	○
人員配置基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた人員配置体制をとっている。	○
設備基準を満たしているか		
	国基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	都基準（「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、「東京都保育所設置認可等事務取扱要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
	区基準（「荒川区保育所運営費等補助要綱」、等）に基づいた設備を整えている。	○
結果		適合

加点点評価項目

項目	評価		
	極めて良好である	良好である	取組が行われていない、または十分でない
保育理念・目標に基づいた事業計画を策定し、熱意を持って実践している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者アンケートを実施しており、施設利用者の満足度が高い。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
適正な設備・施設管理を実践するほか、エコ活動の推進等環境に配慮した運営に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
区内事業者の活用や区民の雇用に努める等、地域との関わりづくりに取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組①について高い実績を残している。(※)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組②について高い実績を残している。(※)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特徴的な取組③について高い実績を残している。(※)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

評価内容

・事業計画の達成度は100%で、極めて良好である。
 ・利用者満足度は98.6%で、極めて高い。
 ・適正に施設・設備管理を実施している。
 ・区民雇用率は49.3%で極めて高く、高齢者や小学生との交流等地域活動も積極的に行っている。

【特徴的な取組】

①食育の推進：野菜の栽培、収穫、調理保育などを通して、食への喜びと感謝の気持ちを育てることができた。全園児が参加する野外料理では、焼く香りが食欲増進につながり、嫌いな野菜も食べられるようになるなど、食を楽しむことにつながった。

②サマーボランティア活動：8月の8日間、卒園した小学生と園児が共に過ごし、遊び方を教えてもらうなどの交流を通じて、「やさしさ」や「思いやり」の気持ちを醸成することにつながった。

③体操あそび：体操指導者による5歳児のボール遊び指導、全園児対象の体操遊びを通じて、機敏性やバランス能力を養った。ふれあい館での地域乳幼児体操遊びに保育園の体操器具を持参するなどの地域への協力も行った。

改善すべき点等

※「特徴的な取組」は1つ以上最大3つまで設定する

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書などを審査した結果、会計処理は適正に行われていた。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差が少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費実績は予算とほぼ等しく、又、前年より低下しており、経費節減・効果的運用努力は行われていた。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定・時間外管理、健康診断受診記録等を確認した結果、全て要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評	
サービス面	関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。
財務・労務面	財務面では施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	子育て支援部
課	保育課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	南千住駅東口自転車等駐車場
	所在地	荒川区南千住4-1-2
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	足立区六町4-12-25
施設開設年月日	平成14年4月1日	
現在の指定管理者による 運営開始年月日	平成18年4月1日	
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日	
業務内容	<p>自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：2,247㎡ ・収容台数： <ul style="list-style-type: none"> 自転車 1,485台（定期利用1,285台、一時利用200台） 原動機付自転車 25台（定期利用20台、一時利用5台） 	

平成26年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 苦情・トラブルに対しては365日24時間対応する。
- 4 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し全管理員に周知徹底する。
- 5 監理員全体研修(年1回)、定期ミーティング(3か月ごと)及び個別研修(OJT)を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・雨合羽の販売サービスを行う。

平成26年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
- 2 施設の修繕等を適切に行った(券売機修繕等)。また、ゲートシステム保守点検(年3回)、自転車搬送用コンベア保守点検(年4回)、消防設備保守点検(年2回)を行った。
- 3 施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 4 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置し全管理員に周知徹底した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。
- 5 接遇や個人情報の取扱い等を含めた全体研修や定期ミーティングを実施した。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。
 - ・雨合羽の販売サービスを行った。
- 7 定期利用登録率(登録者数/定期登録台数) 100.6%〔平成27年3月31日現在〕
一時利用率(利用者数/一時収容台数) 28.4%〔1日平均〕

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	40,140,535	40,140,535	38,107,000	31,358,000
	決算	35,777,105	34,119,785	32,617,986	
支出	予算	30,089,535	31,638,135	28,056,000	27,856,000
	決算	29,272,342	26,966,275	26,793,538	
収支	予算	10,051,000	8,502,400	10,051,000	3,502,000
	決算	6,504,763	7,153,510	5,824,448	

（備考）

・南千住駅周辺における民営駐輪場(時間貸し・コインラック式)の増加による影響もあり、収入は減少傾向で推移している。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60	—	—	60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40	—	—	38
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	5	100%	20
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	5	100%	10
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
小計(A) (100点満点)				98

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	4	80%	2.4
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
小計(B) (10点満点)				7.6

評価内容	
<p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への挨拶を欠かさず行い、高齢者や女性等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と平日朝の繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。 ・雨合羽の販売や軽微な自転車トラブルへの応急措置などのサービスを実施した。 ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民を優先的に(11人中6人)に雇用した。また消耗品等をできるだけ区内で購入した。 ・放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓蒙活動を行った。 	
改善すべき点等	
合計 (A+B)	
105.6	
総合評価	
S	

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	日暮里駅前と経理処理が分別管理されており、会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	S	S
	予算管理が適正である	日暮里駅前と経理処理が分別管理されており、予算管理は適正である。	S	
	経費縮減の努力が行われている	支出について、予算より実績が下回っており、経費縮減の努力が行われている。	S	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	収益性・安定性、健全性等が極めて良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。	S	

総評

サービス面	<p>利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、研修やミーティングによる接遇等の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用2時間無料化、終電時間を考慮した営業時間の延長、雨合羽の販売、タイヤ空気抜け等の軽微な自転車トラブルへの応急措置を行うなど、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。</p>
財務・労務面	<p>財政面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。また、指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも極めて良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また、労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用が行われており、労働環境は良好である。</p>
総合評価	<p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	交通対策課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	センターまちや自転車駐車場
	所在地	荒川区荒川7-50-9
指定管理者	名称	サイカパーキング株式会社
	所在地	中央区日本橋小網町7-2
施設開設年月日		平成8年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：1437.68㎡ ・収容台数： 自転車1,407台（定期利用1,200台、一時利用207台）

平成26年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設内の清掃を毎日行い、整理整頓にも努める。
- 3 緊急時対応マニュアルや緊急連絡網を管理棟に常備する。
- 4 接遇研修及び定期ミーティングを行う。
- 5 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・空気入れ（自動・手動各1基）を設置する。
 - ・傘、雨合羽、サドル等の汚れ拭き用タオルを常備し、貸し出すサービスを行う。

平成26年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。
- 2 ラック・照明器具修繕等を行った。自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）、ゲートシステム保守点検（年3回）、機械警備（365日）を行った。消防設備保守点検はセンター町屋管理組合により行われた。
- 3 緊急時対応マニュアル及び緊急連絡網等を管理棟へ常備し、全管理員に周知徹底した。
- 4 接遇研修及び定期ミーティングを行った。
- 5 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。
 - ・空気入れ（自動・手動各1基）を設置した。
 - ・傘、雨合羽、サドル等の汚れ拭き用タオルを常備し、貸し出すサービスを行った。
 - ・チェーンオイルサービスの実施
- 7 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 111.6%〔平成27年3月31日現在〕
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 102.6%〔1日平均〕

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,735,230	45,272,752	45,922,710	43,882,000
	決算	44,598,990	43,367,490	40,934,372	
支出	予算	40,605,793	41,443,930	41,151,401	42,294,000
	決算	40,914,454	41,344,048	42,631,666	
収支	予算	4,129,437	3,828,822	4,771,309	1,587,000
	決算	3,684,536	2,023,442	-1,697,294	

（備考）

・ 町屋駅周辺における民営駐輪場(時間貸し・コインラック式)の増加による影響もあり、収入は減少傾向で推移している中で、26年度決算はマイナス収支となった。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60	—	—	60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40	—	—	34
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	4	80%	16
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	5	100%	10
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
小計(A) (100点満点)				94

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	4	80%	2.4
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
小計(B) (10点満点)				7.6

評価内容	
<p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子ども乗せ自転車利用者等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。 ・駅につながる階段口付近等に姿見（鏡）を設置し、利用者の利便性や安全性を確保した。 ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェーンオイルサービス、雨合羽やサドル等の汚れ拭き用タオルの貸出しを行った。 ・区民を優先的に（12人中9人）に雇用した。 	
改善すべき点等	
合計（A+B）	101.6
総合評価	S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	分別経理処理が実施されており、会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	S	S
	予算管理が適正である	分別経理処理が実施されており、予算管理は適正である。なお、収入金額は一時利用の減少により減少した。	S	
	経費縮減の努力が行われている	支出について、経費縮減の努力が行われているものの、電気使用量の値上がり等が影響し実績が予算を上回った。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	27年3月期の決算は極めて良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。	S	

総評

サービス面	<p>利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、研修やミーティングにより接遇や個人情報等の管理の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用2時間無料化、駅につながる階段口付近などへの姿見（鏡）の設置をはじめ、チェーンオイルサービス、雨合羽やサドル等の汚れ拭き用タオルの貸出し行うなど、利用者の立場に立ったサービスにより、利用者の満足を得ている。</p>
財務・労務面	<p>財政面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。また、指定管理者である株式会社サイカパーキングは、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも極めて良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また、労務面について、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働環境は良好である。</p>
総合評価	<p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	交通対策課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	日暮里駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里2-24-2
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	足立区六町4-12-25
施設開設年月日	平成20年4月1日	
現在の指定管理者による 運営開始年月日	平成20年4月1日	
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日	
業務内容	<p>自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積：1706.98㎡ ・収容台数： 自転車1,270台（定期利用1,100台、一時利用170台） 	

平成26年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 苦情・トラブルに対しては365日・24時間対応する。
- 4 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置し全管理員に周知徹底する。
- 5 監理員全体研修(年1回)、定期ミーティング(3か月ごと)及び個別研修(OJT)を行う。
- 6 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・雨合羽の販売サービスや自転車の軽微な修理サービスを行う。

平成26年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
高齢者や子ども乗せ自転車利用者等の入出の補助を行った。
- 2 施設の修繕等を適切に行った(精算機・パソコン修理等)。また、エレベーター(月1回)・自転車搬送用コンベア(年2回)・ゲートシステムの定期保守点検(年2回)、消防設備点検(年2回)を実施した。施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 3 苦情等は、本社に設置の365日・24時間対応するコールセンターにおいても対応した。
- 4 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置し全管理員に周知徹底した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。
- 5 接遇や個人情報の取扱い等について、全体研修や現場定期ミーティングを実施した。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。
 - ・雨合羽の販売サービスや自転車の軽微な修理サービスを行った。
- 7 定期利用登録率(登録者数/定期登録台数) 54.5%〔平成27年3月31日現在〕
一時利用率(利用者数/一時収容台数) 146.6%〔1日平均〕

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	19,736,390	20,265,889	22,363,000	22,884,000
	決算	21,538,380	21,414,397	22,111,810	
支出	予算	26,631,390	27,356,574	26,889,000	27,054,000
	決算	26,245,766	28,495,674	28,292,729	
収支	予算	-6,895,000	-7,090,685	-4,526,000	-4,170,000
	決算	-4,707,386	-7,081,277	-6,180,919	

（備考）

・一時利用料の増加などにより、平成25年度と比べて収支マイナス分が減少した。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60	—	—	60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40	—	—	38
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	5	100%	20
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	5	100%	10
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	4	80%	8
小計(A) (100点満点)				98

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	4	80%	2.4
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
小計(B) (10点満点)				7.6

評価内容	
<p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への挨拶を欠かさず行い、高齢者や女性等のラック収納を補助すると共に、常時2名体制と平日朝の繁忙時間の増員により、スムーズな整理誘導等に努めた。 ・雨合羽の販売や軽微な自転車トラブルへの応急措置などのサービスを実施した。 ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日暮里サニーホールやホテルラングウッドと連携し、「100円駐輪券」の運用を行った。 ・区民を優先的に(10人中6人)雇用した。また消耗品等をできるだけ区内で購入した。 ・放置自転車クリーンキャンペーン(10月実施)に参加し、区・警察等と啓蒙活動を行った。 	
改善すべき点等	
	合計 (A+B)
	105.6
	総合評価
	S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	南千住東口と経理処理が分別管理されており、会計基準に基づいて適正な手続きがなされている。	S	S
	予算管理が適正である	南千住東口と経理処理が分別管理されており、予算管理は適正である。なお、収入は予算額とほぼ同等となっている。	S	
	経費縮減の努力が行われている	支出について、経費縮減の努力が行われているものの、電気使用量の値上がり等が影響し実績が予算を上回った。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	収益性、安定性、健全性等が極めて良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。	S	

総評

サービス面	<p>利用者への誘導・補助や清掃等を確実に行うと共に、研修やミーティングによる接遇等の向上を図り、安全で快適な管理運営に努めている。また、365日営業、一時利用2時間無料化、終電時間を考慮した営業時間の延長、雨合羽の販売、軽微な自転車トラブルへの応急措置を行うなど、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。また、日暮里サニーホール等と連携し「100円駐輪券」の運用を行うなど、新たな利用者の獲得に向けても取り組んでいる。</p>
財務・労務面	<p>財政面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。また、指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも極めて良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また、労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用が適正に行われており、労働環境は良好である。</p>
総合評価	<p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	交通対策課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	三河島駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里1-6-20
指定管理者	名称	センターサイクル荒川共同体 (構成団体：代表団体・公益財団法人自転車駐車場整備センター、サイカパーキング株式会社)
	所在地	中央区日本橋茅場町3-1-11
施設開設年月日		平成26年10月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成26年10月1日
指定期間		平成26年10月1日～平成30年3月31日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の収受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：776㎡ ・収容台数：自転車440台（定期利用330台、一時利用110台）

平成26年度の事業計画

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行う。
- 2 設備の保守点検や必要な修繕を行う。施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 3 安全管理実施連絡体制により、トラブル防止、苦情対応及び緊急時の対応を行う。
- 4 事故・防犯・防災マニュアルを管理室に常備する。
- 5 施設開設前、新規採用時における研修及び年に1回の定期研修を行う。
- 6 自主自供として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。
 - ・一時利用者への2時間無料サービスを実施する。
 - ・一時利用料の清算時用に電子マネー決済機を導入する。
 - ・電動空気入れを設置する。
 - ・非常時貸出用自転車を用意する。

平成26年度の事業実績

- 1 利用者の誘導・案内、利用承認や料金収納を適切に行った。
- 2 機械式駐輪機の定期保守点検（2回）、機械警備、施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 3 安全管理実施連絡体制により、トラブル防止、苦情対応及び緊急時の対応を行った。
- 4 事故・防犯・防災マニュアルを管理室に常備し、全管理員に周知した。
- 5 施設開設前及び新規採用時における研修を行った。
- 6 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。
 - ・一時利用者への2時間無料サービスを実施した。
 - ・一時利用料の清算時用に電子マネー決済機を導入した。
 - ・電動空気入れを設置した。
 - ・非常時貸出用自転車を10台用意した。
- 7 定期利用登録率（登録者数／定期登録台数） 75.2%〔平成27年3月31日現在〕
一時利用率（利用者数／一時収容台数） 24.8%〔1日平均〕

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算			4,708,250	10,280,000
	決算			4,656,700	
支出	予算			7,166,780	13,705,000
	決算			7,534,477	
収支	予算	0	0	-2,458,530	-3,425,000
	決算	0	0	-2,877,777	

（備考）

- ・ 予想を上回る定期利用があったが、一時利用の少なさが影響しマイナス収支となった。
- ・ 2,509,300円の指定管理料(収入差額分)を支払っている。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理	60	—	—	60
安全快適に利用できるための施設管理がなされている	20	5	100%	20
業務遂行に必要な職員の配置・育成がなされている	20	5	100%	20
安全管理実施体制を構築し、緊急時対応を万全としている	20	5	100%	20
区民サービス	40	—	—	40
利用者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	20	5	100%	20
サービス向上のため創意工夫ある取組を実践している	10	5	100%	10
利用者からの声をモニタリングし、是正等を図っている	10	5	100%	10
小計(A) (100点満点)				100

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
利用者増加のための対策に取り組んでいる	5	4	80%	4
区民雇用、区内事業者の活用等で地域に貢献している	3	4	80%	2.4
環境やエコに関する取組を積極的に行っている	2	3	60%	1.2
小計(B) (10点満点)				7.6

評価内容	
<p>(基本評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用に当たり利用者が守るべき事項を周知徹底すると共に、繁忙時間（毎日6時～9時30分）に増員を図り、利用者がスムーズに施設を利用できるよう努めた。 ・緊急時連絡組織体制網に基づき、機器異常発生時における利用者対応等を適切に行った。 ・利用者アンケートの各項目で高い満足度を得ており感謝の声も多数寄せられた。 <p>(その他の評価項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設開設に際して、増員体制による受付の実施、共同体担当者による荒川ケーブルテレビでの施設PR等を行った。 ・区民を優先的に（8人中7人）に雇用した。 	
改善すべき点等	
合計（A+B）	
107.6	
総合評価	
S	

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	公益財団法人の経理処理が行われており、共同体の構成団体を含めた会計手続きは適正である。	S	S
	予算管理が適正である	予算管理は適正に行われている。また、利用者に起因する機器トラブルの防止に努め、結果として、緊急対応費の支出を抑えた。	S	
	経費縮減の努力が行われている	緊急対応の支出抑制、節電等の経費縮減に向けた努力が行われている。	S	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	収益性・安定性・健全性等について極めて良好であり、安定した運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。	S	

総評

サービス面	<p>施設利用方法の周知徹底によりトラブルを事前に防止し、繁忙時間帯には増員を図ること等により、安全快適な施設の管理運営を図った。また、年末年始を含めた毎日の開場や一時利用2時間までの利用無料制度の導入に加え、一時利用清算時における電子マネー決済機の導入、電動空気入れの設置、非常時貸出用自転車の設置等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。</p>
財務・労務面	<p>財政面について、施設の会計手続や予算管理は適正であり、経費削減努力も行われている。また、指定管理者の代表団体・公益財団法人自転車駐車場整備センターは、収益性・成長性・安定性・活動性・健全性等いずれも極めて良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また、労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用が適正に行われており、労働環境は良好である。</p>
総合評価	<p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	交通対策課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区営住宅（西尾久七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、南千住二丁目住宅、町屋七丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西尾久七丁目19番11号 他
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成4年4月28日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日から平成27年3月31日
業務内容		1 区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務

平成26年度の事業計画

1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除を含む）
3 施設管理	受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、安否確認システム保守、エレベーター保守等
4 清掃・管理	定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備
5 計画修繕	水道用水及び工業用水揚水ポンプ交換、屋上防水工事、高架水槽外部・内部補修工事（町屋五丁目住宅）

平成26年度の事業実績

1 住宅営繕	一般修繕（エアコン補修、緊通システム予備電源交換等 20件） 空家修繕（畳表替え等 13件）
2 環境整備	樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず）
3 施設管理	受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、安否確認システム、エレベーター保守等を実施
4 清掃・管理	定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備を実施
5 計画修繕	水道用水及び工業用水揚水ポンプ交換、屋上防水工事、高架水槽外部・内部補修工事（町屋五丁目住宅）

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	23,330,642	38,316,334	26,575,962	27,140,615
	決算	21,639,251	32,742,941	25,354,804	
支出	予算	23,330,642	38,316,334	26,575,962	27,140,615
	決算	21,639,251	32,742,941	25,354,804	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

- ・ 25年度は、給湯器交換・エアコン改修工事に加え、緊急に屋上防水工事を実施したため、例年に比べ予算、決算額が共に増加した。
- ・ 26年度は、水道用水及び工業用水揚水ポンプ取替工事、屋上防水工事（1・3・13階）、高架水槽補修工事を実施した。
- ・ 27年度は、給水管及び減圧弁交換工事等の実施を予定している。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	70	-	-	70
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	5	100%	20
研修計画に基づいた職員の受講がなされてる	20	5	100%	20
区民サービス	30	-	-	30
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	5	100%	20
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	5	100%	10
合計(A)	100	-	-	100

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に図っている	6	2	40%	2.4
合 計 (A)	10	-	-	6.4
評価内容				
<p>事故・事件発生時には、社長を本部長とする「危機管理対策本部」を設置し、危機状況の把握、建物の被害状況の確認、ライフラインの確保、応急修理等の対応を迅速かつ適切に行うことができる体制が整備されている。</p>				
改善すべき点等				
<p>区内事業者の活用は、専門性の高い業務以外の営繕業務については、より一層の区内事業者の活用が望まれる。</p>				
合 計 (A+B)				106.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	監査法人による監査報告書が提出されており、会計基準に基づく適正な手続がなされている。	S	S
	予算管理が適正である	決算における未執行額が少なく、予算管理は適正である。	S	
	経費縮減の努力が行われている	予算より実績が下回っており、経費縮減の努力が行われている。	S	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。	S	

総評

サービス面	施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされている。コストを低減しつつ保守委託業務については区内業者の活用を図り、良好な維持管理が行われているが、営繕業務についてはより一層の区内業者の活用が望まれる。
財務・労務面	財務面について、会計手続及び予算管理は適正であり、経費縮減の努力も行われている。成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。 労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働基準法等を遵守し適正に行っている。また、本業務に従事する関係労働者は、一級建築士、マンション管理士等の専門資格を保有しており、業務の品質が担保されている。
総合評価	専門性の高い業務以外の営繕業務の区内事業者の活用については、より一層の活用が望まれるが、サービス面、財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	福祉部
課	福祉推進課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	区民住宅（西日暮里三丁目住宅、東日暮里六丁目住宅、町屋八丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西日暮里三丁目7番6号他
指定管理者	名称	株式会社東急コミュニティー
	所在地	世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエアタワー
施設開設年月日		平成7年4月1日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
業務内容		1 区民住宅、共同施設及び付帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務

平成26年度の事業計画

1 住宅営繕	一般修繕、空室修繕（退去後の修繕）
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除を含む）
3 施設管理	受水槽清掃（町屋五丁目住宅）、排水管清掃、消防設備保守（町屋五丁目住宅）、エレベーター保守等
4 清掃・巡回管理	定期清掃、巡回管理、床等日常清掃、ゴミ置き場等清掃
5 計画修繕	水道用水及び工業用水揚水ポンプ交換、屋上防水工事、高架水槽外部・内部補修工事（町屋五丁目住宅）

平成26年度の事業実績

1 住宅営繕	一般修繕（台所水栓交換等96件）、空室修繕（壁クロス張り替え等13件）を実施
2 環境整備	樹木剪定を実施（害虫駆除は実施せず）
3 施設管理	受水槽清掃（町屋五丁目住宅）、排水管清掃、消防設備保守（町屋五丁目住宅）、エレベーター保守等を実施
4 清掃・巡回管理	定期清掃（年4回）、巡回管理、床等日常清掃（週3回）、ゴミ置き場等清掃（可燃ごみ収集日）を実施
5 計画修繕	水道用水及び工業用水揚水ポンプ交換、屋上防水工事、高架水槽外部・内部補修工事（町屋五丁目住宅）

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	38,661,000	93,980,327	70,922,160	52,912,966
	決算	38,259,963	93,785,599	70,158,800	
支出	予算	38,661,000	93,980,327	70,922,160	52,912,966
	決算	38,259,963	93,785,599	70,158,800	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

（備考）

- ・ 25年度は、給湯器交換・エアコン改修工事に加え、緊急に屋上防水工事を実施したため、例年に比べ予算、決算額が共に増加した。
- ・ 26年度は、水道用水及び工業用水揚水ポンプ取替工事、屋上防水工事（1・3・13階）、高架水槽補修工事、工業用水ブースターポンプユニット交換工事等を実施した。
- ・ 27年度は、給水管及び減圧弁交換工事等の実施を予定している。

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	70			70
快適に利用できるための施設管理がなされている	30	5	100%	30
業務の遂行に必要な職員が配置されている	20	5	100%	20
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	20	5	100%	20
区民サービス	30			26
居住者からの修繕依頼に対し、迅速かつ適切に対応している	20	5	100%	20
居住者アンケートの結果、施設利用の満足度が高い	10	3	60%	6
合計（A）	100	-	-	96

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
適切な危機管理体制が整備されている	2	5	100%	2
事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	2	5	100%	2
区内事業者の活用を積極的に行っている	6	2	40%	2.4
合計 (A)	10	-	-	6.4
評価内容				
<p>事故・事件発生時には、社長を本部長とする「危機管理対策本部」を設置し、危機状況の把握、建物の被害状況の確認、ライフラインの確保、応急修理などの対応を迅速かつ適切に行うことが出来る体制が整備されている。</p>				
改善すべき点等				
<p>区内事業者の活用は、専門性の高い業務以外の営繕業務について、より一層の区内事業者の活用が望まれる。</p>				
合計 (A+B)				102.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	監査法人による監査報告書が提出されており、会計基準に基づく適正な手続がなされている。	S	S
	予算管理が適正である	決算における未執行額が少なく、予算管理は適正である。	S	
	経費縮減の努力が行われている	予算より実績が下回っており、経費縮減の努力が行われている。	S	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業法人の三期の決算書に基づいて財務評価を行った結果、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れていて、安定した運営を行う財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約条件、実施内容、従業員の最低賃金等労働基準法等を遵守しており、労働環境は良好である。	S	

総評

サービス面	<p>施設の維持管理について、24時間体制による適切な管理がなされている。</p> <p>コストを低減しつつ保守委託業務については区内事業者の活用を図り、良好な維持管理が行われているが、営繕業務については、より一層の区内事業者の活用が望まれる。</p>
財務・労務面	<p>財務面について、会計手続及び予算管理は適正であり、経費縮減の努力も行われている。成長性、収益性、安定性、活動性、健全性等は総合的に極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。</p> <p>労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、労働基準法等を遵守し適正に行っている。また、本業務に従事する関係労働者は、一級建築士、マンション管理費等の専門資格を保有しており、業務の品質が担保されている。</p>
総合評価	<p>専門性の高い業務以外の営繕業務の区内事業者の活用については、より一層の活用が望まれるが、サービス面、財務面、労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。</p>

担当所管部	
部	防災都市づくり部
課	施設管理課